

社 会
(公民的分野)

社会の目標等について
<p>【教科の目標】 第1 目標 広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。</p>
<p>【学年・分野・領域等の目標など】 [公民的分野] (1) 個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務の関係を広い視野から正しく認識させ、民主主義に関する理解を深めるとともに、国民主権を担う公民として必要な基礎的教養を培う。 (2) 民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動とのかかわり及び現代の社会生活などについて、個人と社会とのかかわりを中心に理解を深め、現代社会についての見方や考え方の基礎を養うとともに、社会の諸問題に着目させ、自ら考えようとする態度を育てる。 (3) 国際的な相互依存関係の深まりの中で、世界平和の実現と人類の福祉の増大のために、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことが重要であることを認識させるとともに、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることが大切であることを自覚させる。 (4) 現代の社会的事象に対する関心を高め、様々な資料を適切に収集、選択して多面的・多角的に考察し、事実を正確にとらえ、公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育てる。</p>

【参考】

- 社会科、地理歴史科、公民科においては、その課題を踏まえ、小学校、中学校及び高等学校を通じて、社会的事象に関心をもって多面的・多角的に考察し、公正に判断する能力と態度を養い、社会的な見方や考え方を成長させることを一層重視する方向で改善を図る。
- 社会的事象に関する基礎的・基本的な知識、概念や技能を確実に習得させ、それらを活用する力や課題を探究する力を育成する観点から、各学校段階の特質に応じて、習得すべき知識、概念の明確化を図るとともに、コンピュータなども活用しながら、地図や統計など各種の資料から必要な情報を集めて読み取ること、社会的事象の意味、意義を解釈すること、事象の特色や事象間の関連を説明すること、自分の考えを論述することを一層重視する方向で改善を図る。
- 我が国及び世界の成り立ちや地域構成、今日の社会経済システム、様々な伝統や文化、宗教についての理解を通して、我が国の国土や歴史に対する愛情をはぐくみ、日本人としての自覚をもって国際社会で主体的に生きるとともに、持続可能な社会の実現を目指すなど、公共的な事柄に自ら参画していく資質や能力を育成することを重視する方向で改善を図る。
- 標準授業時数 100単位時間

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
	2・東書	第3学年 公民的分野	公民・929	新編 新しい社会 公民
取扱内容 各学年の目標、内容等 学習指導要領の総則及び各教科、	<p>○ 公民的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「私たちと現代社会」において、持続可能な社会の実現や伝統文化の継承と私たちを取り上げ、地理的分野及び歴史的分野との関連を図りながら写真や統計資料を比較したり、学校でのトラブルの事例を取り上げ、問題を追究し、説明したりする活動 ・「私たちと経済」において、コンビニエンスストアの経営に関する事例を取り上げ、判断した過程や結果をまとめたり、少子高齢化と日本の財政、契約と消費生活を取り上げ、消費生活を営む上での責任を自分の生活とかわらせて考え説明したりする活動 ・「私たちと政治」において、地下鉄の女性専用車やバリアフリーの社会を取り上げ、基本的人権の意味を考察したり、選挙シミュレーション、模擬裁判を取り上げ、地方自治の基本的な考え方や法に基づく公正な裁判の保障について、調査したりする活動 ・「私たちと国際社会の諸課題」において、第二次世界大戦後の主な地域紛争や資源・エネルギー問題を取り上げ、国家間の主権の尊重と協力、国際機構の役割について考察したり、持続可能な社会の形成をテーマとして取り上げ、視点を明確にして考察しレポートを作成したりする活動 <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、見開きの「確認」において、学習内容を言語活動を通して表現するなど、知識・技能を活用する学習活動が取り上げられている。</p>			
内容の 排列、 構成 分量・ 等	<p>○ 内容の構成・排列については、「現代社会と私たちの生活」において、現代社会をとらえる見方や考え方の基礎を学習した後に、政治、経済を排列し、最後の章では、社会科のまとめとして、持続可能な社会の形成についての課題学習を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○ 内容の分量については、「私たちと現代社会」は28ページ、「私たちと経済」は50ページ、「私たちと政治」は84ページ、「私たちと国際社会の諸課題」は46ページであり、総ページ数は247ページで、前回より約15%増となっている。</p>			
使用上の 配慮等	<p>○ 学習意欲を高める工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各章の導入に、学習の見通しをもたせる重要語句を掲載するページを設けている。 ・「栗山町の議会制度改革」を掲載し、北海道の事例から地方自治を考察する工夫がなされている。 <p>○ 主体的に学習に取り組むことができるような工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広い視野から学習を深めることができるよう、「公民にアクセス」や「深めよう」を設けている。 ・よりよい社会の形成に参画する意欲や態度が高まるよう、各章の課題を提示する「トライ！」や写真、イラストを掲載している。 <p>○ 使用上の便宜については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭での自学自習に配慮し、巻頭に教科書で使われているマークの説明を設けている。 ・巻末に年表「現代社会の歩み」を掲載し、分野間の学習の関連を図っている。 ・全ての生徒が学習しやすいよう、振り仮名をゴシック体にするなど工夫されている。 			

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
	17・教出	第3学年 公民的分野	公民・930	中学社会 公民 ともに生きる
<p>取扱内容</p> <p>各学年の目標、内容等</p> <p>学習指導要領の総則及び各教科、</p>	<p>○ 公民的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「私たちと現代社会」において、グローバル化・情報化の影響や日常生活と伝統・文化、芸術を取り上げ、地理的分野及び歴史的分野との関連を図りながら写真や統計資料を比較したり、マンションの駐車場問題の事例を取り上げ、問題を追究し、説明したりする活動 ・「私たちと経済」において、りんごの価格決定に関する事例を取り上げ、判断した過程や結果をまとめたり、市場経済の中の社会的責任、循環型社会の実現を取り上げ、消費生活を営む上での責任を自分の生活とかかわらせて考え説明したりする活動 ・「私たちと政治」において、ハンセン病の問題や監視カメラの設置を取り上げ、基本的人権の意味を考察したり、地域における独自の政策・条例、裁判員制度の模擬裁判を取り上げ、地方自治の基本的な考え方や法に基づく公正な裁判の保障について、調査したりする活動 ・「私たちと国際社会の諸課題」において、国際連合のはたらきや世界の地域紛争を取り上げ、国家間の相互の主権の尊重と協力、国際機構の役割等について考察したり、持続可能を妨げる課題をテーマとして取り上げ、視点を明確にして考察しレポートを作成したりする活動 <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、各領域の「さらにステップアップ」において、学習内容を言語活動を通して表現するなど、知識・技能を活用する学習活動が取り上げられている。</p>			
<p>内容の 排列、 構成・ 分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、「わたしたちの暮らしと現代社会」において、現代社会をとらえる見方や考え方の基礎を学習した後に、政治、経済を排列し、最後の章では、社会科のまとめとして、持続可能な社会の形成についての課題学習を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○ 内容の分量については、「私たちと現代社会」は22ページ、「私たちと経済」は60ページ、「私たちと政治」は84ページ、「私たちと国際社会の諸課題」は38ページであり、総ページ数は248ページで、前回より約2%増となっている。(B5判からAB判に変更)</p>			
<p>使用上の 配慮等</p>	<p>○ 学習意欲を高める工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各章の導入に、学習の見通しをもたせる「はじめに」のページを設けている。 ・倶知安町の「みんなで親しむ雪条例」を掲載し、北海道の事例から地方自治を考察する工夫がなされている。 <p>○ 主体的に学習に取り組むことができるような工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広い視野から学習を深めることができるよう、「読み解こう」や「公民の窓」を設けている。 ・よりよい社会の形成に参画する意欲や態度が高まるよう、各章に学習を深める話題を提示する「読んで深く考えよう」を掲載している。 <p>○ 使用上の便宜については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭での自学自習に配慮し、巻頭に本文ページの見方や使い方の説明を設けている。 ・巻頭に年表「日本と世界の歩み」を掲載し、分野間の学習の関連を図っている。 ・全ての生徒が学習しやすいよう、判読しやすい配色にするなど工夫されている。 			

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
	35・清水	第3学年 公民的分野	公民・931	中学 公民 日本の社会と世界
取扱内容 各学年の目標、内容等 学習指導要領の総則及び各教科、	<p>○ 公民的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「私たちと現代社会」において、少子高齢社会の未来やグローバル化の時代を取り上げ、地理的分野及び歴史的分野との関連を図りながら写真や統計資料を比較したり、平日の体育館の利用方法の事例を取り上げ、問題を追究し、説明したりする活動 ・「私たちと経済」において、為替・クレジットカードのしくみに関する事例を取り上げ、判断した過程や結果をまとめたり、契約やクーリングオフ制度、循環型社会を取り上げ、消費生活を営む上での責任を自分の生活とかかわらせて考え説明したりする活動 ・「私たちと政治」において、冤罪事件や職場での男女平等を取り上げ、基本的人権の意味を考察したり、地域活性化・復興に向けた地域の取り組み、日本の裁判員制度の意義を取り上げ、地方自治の基本的な考え方や法に基づく公正な裁判の保障について、調査したりする活動 ・「私たちと国際社会の諸課題」において、国際連合のはたらきや国際社会と法を取り上げ、国家間の相互の主権の尊重と協力、国際機構の役割等について考察したり、よりよい社会の形成者をテーマとして取り上げ、視点を明確にして考察しレポートを作成したりする活動 <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、巻末の「卒業論文を書いてみよう」において、学習内容を言語活動を通して表現するなど、知識・技能を活用する学習活動が取り上げられている。</p>			
内容の 排列、 構成 ・ 分量 等	<p>○ 内容の構成・排列については、「私たちと現代社会」において、現代社会をとらえる見方や考え方の基礎を学習した後に、政治、経済を排列し、最後の章では、社会科のまとめとして、持続可能な社会の形成についての課題学習を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○ 内容の分量については、「私たちと現代社会」は18ページ、「私たちと経済」は62ページ、「私たちと政治」は74ページ、「私たちと国際社会の諸課題」は28ページであり、総ページ数は223ページで、前回より約3%増となっている。</p>			
使用上の 配慮等	<p>○ 学習意欲を高める工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各章の導入に、学習の見通しをもたせる「扉のページ」を設けている。 ・「平取町のミニFM局によるアイヌ語放送」を掲載し、北海道の事例から人権問題を考察する工夫がなされている。 <p>○ 主体的に学習に取り組むことができるような工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広い視野から学習を深めることができるよう、「もっと知りたい公民」や「補足説明」を設けている。 ・よりよい社会の形成に参画する意欲や態度が高まるよう、学習に関連するテーマを解説する「深める 公民」を掲載している。 <p>○ 使用上の便宜については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭での自学自習に配慮し、巻頭に教科書で使われているマークの説明を設けている。 ・巻末に年表「現代社会のうごき」を掲載し、分野間の学習の関連を図っている。 ・全ての生徒が学習しやすいよう、読み取りやすい活字にするなど工夫されている。 			

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
	46・帝国	第3学年 公民的分野	公民・932	社会科 中学生の公民 より良い社会をめざして
取扱内容 各学年の目標、内容等 学習指導要領の総則及び各教科	<p>○ 公民的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「私たちと現代社会」において、高度経済成長期やグローバル化の進展を取り上げ、地理的分野及び歴史的分野などに関連を図りながら写真や統計資料を比較したり、マンションの騒音問題の事例を取り上げ、問題を追究し、説明したりする活動 ・「私たちと経済」において、企業の企画書を作成する事例を取り上げ、判断した過程や結果をまとめたり、おこづかいの使い方、クレジットカードの危険性を取り上げ、消費生活を営む上での責任を自分の生活とかかわらせて考え説明したりする活動 ・「私たちと政治」において、日本国憲法の考え方やインターネットと人権を取り上げ、基本的人権の意味を考察したり、中高生による議会、裁判の判決を考える事例を取り上げ、地方自治の基本的な考え方や法に基づく公正な裁判の保障について、調査したりする活動 ・「私たちと国際社会の諸課題」において、自衛隊による国際協力や地球温暖化とその国際的な対応を取り上げ、国家間の相互の主権の尊重と協力、国際機構の役割について考察したり、発展途上国の教育をテーマとして取り上げ、視点を明確にして考察しレポートを作成したりする活動 <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、章末の「学習をふりかえろう」において、学習内容を言語活動を通して表現するなど、知識・技能を活用する学習活動が取り上げられている。</p>			
内容の 排列、 構成・ 分量等	<p>○ 内容の構成・排列については、「私たちと現代社会」において、現代社会をとらえる見方や考え方の基礎を学習した後に、政治、経済を排列し、最後の章では、社会科のまとめとして、持続可能な社会の形成についての課題学習を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○ 内容の分量については、「私たちと現代社会」は28ページ、「私たちと経済」は60ページ、「私たちと政治」は74ページ、「私たちと国際社会の諸課題」は41ページであり、総ページ数は232ページで、前回より約5%減となっている。(B5判からAB判に変更)</p>			
使用上の 配慮等	<p>○ 学習意欲を高める工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各章の導入に、学習の見通しをもたせる「学習の前に」のページを設けている。 ・「旭川市の農業生産法人」を掲載し、北海道の事例から日本の産業を考察する工夫がなされている。 <p>○ 主体的に学習に取り組むことができるような工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広い視野から学習を深めることができるよう、「未来に向けて」や「連続コラム」を設けている。 ・よりよい社会の形成に参画する意欲や態度が高まるよう、様々な立場から話し合うための題材を提示する「トライアル公民」を掲載している。 <p>○ 使用上の便宜については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭での自学自習に配慮し、巻頭に教科書で使われているマークの説明を設けている。 ・見開きに「地理・歴史をふりかえる」を掲載し、分野間の学習の関連を図っている。 ・全ての生徒が学習しやすいよう、読み取りやすい活字にするなど工夫されている。 			

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
	116・日文	第3学年 公民的分野	公民・933	中学社会 公民的分野
<p>取扱内容</p> <p>各学年の目標、内容等</p> <p>学習指導要領の総則及び各教科、</p>	<p>○ 公民的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「私たちと現代社会」において、グローバル化する世界で生きる私たちや受けつぎ、創造する日本の伝統と文化を取り上げ、地理的分野及び歴史的分野との関連を図りながら写真や統計資料を比較したり、合唱の練習場所の割り当てに関する事例を取り上げ、問題を追究し説明したりする活動 ・「私たちと経済」において、自由貿易に関する事例を取り上げ、判断した過程や結果をまとめたり、消費を支える生活、消費者主権を取り上げ、消費生活を営む上での責任を自分の生活とかわらせて考え説明したりする活動 ・「私たちと政治」において、ネット社会とつき合う方法やバリアフリーの社会を取り上げ、基本的人権の意味を考察したり、環境保全への取り組み、裁判員裁判のシミュレーションを取り上げ、地方自治の基本的な考え方や法に基づく公正な裁判の保障について、調査したりする活動 ・「私たちと国際社会の諸課題」において、国際連合や第二次世界大戦後の主な地域紛争を取り上げ、国家間の相互の主権の尊重と協力、国際機構の役割等について考察したり、これからの社会をテーマとして取り上げ、視点を明確にして考察しレポートを作成したりする活動 <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、各領域末の「チャレンジ公民」において、学習内容を言語活動を通して表現するなど、知識・技能を活用する学習活動が取り上げられている。</p>			
<p>内容の 排列、 構成 分量 等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、「現代社会をとらえる見方や考え方」において、現代社会をとらえる見方や考え方の基礎を学習した後に、政治、経済を排列し、最後の編では、社会科のまとめとして、持続可能な社会の形成についての課題学習を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○ 内容の分量については、「私たちと現代社会」は30ページ、「私たちと経済」は55ページ、「私たちと政治」は89ページ、「私たちと国際社会の諸課題」は43ページであり、総ページ数は249ページで、前回より約4%減となっている。(B5判からAB判に変更)</p>			
<p>使用上の 配慮等</p>	<p>○ 学習意欲を高める工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各編の導入に、学習の見通しをもたせる「ナビ」のページを設けている。 ・「手つかずの自然が残る知床半島」を掲載し、北海道の事例から日本の風景を守るための方策を考察する工夫がなされている。 <p>○ 主体的に学習に取り組むことができるような工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広い視野から学習を深めることができるよう、「ズームイン」や「連携コーナー」を設けている。 ・よりよい社会の形成に参画する意欲や態度が高まるよう、社会参画の手がかりを示した特設ページ「明日に向かって」を掲載している。 <p>○ 使用上の便宜については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭での自学自習に配慮し、巻頭に教科書で使われているマークの説明を設けている。 ・巻頭に年表「日本の現代史年表」を掲載し、分野間の学習の関連を図っている。 ・全ての生徒が学習しやすいよう、振り仮名をゴシック体にするなど工夫されている。 			

様式 2

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
	225・自由社	第3学年 公民的分野	公民・927	新しい公民教科書
取扱内容 各学年の目標、内容等	<p>○ 公民的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「私たちと現代社会」において、日本の人口ピラミッドの変化や文化の継承と創造を取り上げ、地理的分野及び歴史的分野との関連を図りながら写真や統計資料を比較したり、学校生活での対立と合意の事例を取り上げ、問題を追究し説明したりする活動 ・「私たちと経済」において、株式会社のしくみの事例を取り上げ、判断した過程や結果をまとめたり、消費者を保護するきまりとしくみ、環境保全と私たちの責任を取り上げ、消費生活を営む上での責任を自分の生活とかかわらせて考え説明したりする活動 ・「私たちと政治」において、新しい権利や権利の平等に関する問題を取り上げ、基本的人権の意味を考察したり、地方公共団体の役割、裁判員制度の事例を取り上げ、地方自治の基本的な考え方や法に基づく公正な裁判の保障について調査したりする活動 ・「私たちと国際社会の諸課題」において、国家と国際関係や国連平和協力活動への取り組みを取り上げ、国家間の主権の尊重と協力、国際機構の役割について考察したり、行ってみたい国をテーマとして取り上げ、視点を明確にして考察しレポートを作成したりする活動 <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、終章の「課題の探求」において、学習内容を言語活動を通して表現するなど、知識・技能を活用する学習活動が取り上げられている。</p>			
内容の 排列、 構成 分量 等	<p>○ 内容の構成・排列については、「個人と社会生活」において、現代社会をとらえる見方や考え方を学習した後に、政治、経済を排列し、最後の章では、社会科のまとめとして、持続可能な社会の形成についての課題学習を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○ 内容の分量については、「私たちと現代社会」は36ページ、「私たちと経済」は36ページ、「私たちと政治」は70ページ、「私たちと国際社会の諸課題」は52ページであり、総ページ数は224ページで、前回と同様になっている。</p>			
使用上の 配慮等	<p>○ 学習意欲を高める工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各見開きに、学習内容を解説する「ここがポイント！」を設けている。 ・「阿寒湖周辺のパンケトー地区」を掲載し、北海道の事例から環境問題を考察する工夫がなされている。 <p>○ 主体的に学習に取り組むことができるような工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広い視野から学習を深めることができるよう、「もっと知りたい」や「課題の探求」を設けている。 ・よりよい社会の形成に参画する意欲や態度が高まるよう、生徒の主体的な学習を促す「ミニ知識」を掲載している。 <p>○ 使用上の便宜については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭での自学自習に配慮し、巻頭に教科書の特集ページやコラムの説明を設けている。 ・各章末に「学習のまとめと発展」を掲載し、分野間の学習の関連を図っている。 ・全ての生徒が学習しやすいよう、重要語句をゴシック体にするなど工夫されている。 			

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
<p>取扱内容</p> <p>各学年の目標、内容等</p> <p>学習指導要領の総則及び各教科、</p>	227・育鵬社	第3学年 公民的分野	公民・934	[新編] 新しいみんなの公民
<p>内容の 排列、 構成・ 分量等</p>	<p>○ 公民的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「私たちと現代社会」において、少子高齢社会の課題と対応や文化の継承と創造を取り上げ、地理的分野及び歴史的分野との関連を図りながら写真を比較したり、クラスでの文化祭の事例を取り上げ、問題を追究し説明したりする活動 ・「私たちと経済」において、事業に対する銀行の融資に関する事例を取り上げ、判断した過程や結果をまとめたり、消費者の権利と保護、環境の保全を取り上げ、消費生活を営む上での責任を自分の生活とかがかわらせて考え説明したりする活動 ・「私たちと政治」において、男女の平等と家族の価値や国際社会における人権を取り上げ、基本的人権の意味を考察したり、地域おこしの例や観光資源、裁判員になって判決を考える事例を取り上げ、地方自治の基本的な考え方や法に基づく公正な裁判の保障について、調査したりする活動 ・「私たちと国際社会の諸課題」において、国際連合や第二次世界大戦後の主な地域紛争を取り上げ、国家間の相互の主権の尊重と協力、国際機構の役割について考察したり、持続可能な社会をテーマとして取り上げ、視点を明確にして考察しレポートを作成したりする活動 <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、巻末の「テーマを決めてレポートを作成しよう」において、学習内容を言語活動を通して表現するなど、知識・技能を活用する学習活動が取り上げられている。</p>			
<p>使用上の 配慮等</p>	<p>○ 学習意欲を高める工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各章の導入に、学習の見通しをもたせる「入り口」を設けている。 ・根室での「サンマの水揚げ」を掲載し、北海道の事例から産業構造を考察する工夫がなされている。 <p>○ 主体的に学習に取り組むことができるような工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広い視野から学習を深めることができるよう、「理解を深めよう」や「考えよう」を設けている。 ・よりよい社会の形成に参画する意欲や態度が高まるよう、自分の人生と学習内容とのかかわりについて知る「人生のモノサシ」を掲載している。 <p>○ 使用上の便宜については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭での自学自習に配慮し、巻末に学習に役立つウェブサイトの一覧を設けている。 ・巻頭に「戦後の日本と世界の主なできごと」を掲載し、分野間の学習の関連を図っている。 ・全ての生徒が学習しやすいよう、振り仮名をゴシック体にするなど工夫されている。 			

＜ 公民的分野の具体的な調査項目 ＞

◎ 調査研究の対象とした事項

- ① 中項目（「私たちが生きる現代社会と文化」「現代社会をとらえる見方や考え方」「市場の働きと経済」「国民の生活と政府の役割」「人間の尊重と日本国憲法の基本的原則」「民主政治と政治参加」「世界平和と人類の福祉の増大」「よりよい社会を目指して」）ごとのページ数及び総ページ数
- ② 各内容で取り上げている社会的事象の項目数
- ③ 伝統や文化に関する内容を取り上げた特集ページやコラムを掲載しているページ数
- ④ 我が国の領土に関する内容を取り上げているページ数
- ⑤ 自然災害及び防災に関する内容を取り上げているページ数
- ⑥ 地理的分野、歴史的分野、公民的分野の三分野に関連し、現代の社会的事象について取り上げているページ数
- ⑦ 社会的事象の意味、意義を解釈する学習及び事象の特色や事象間の関連を説明するなどの学習方法を取り上げているページ数
- ⑧ 北海道とかかわりのある内容(北海道に関する社会的事象)を取り上げている箇所数
 - (1) アイヌの人たちの歴史・文化等を取り上げている箇所数
 - (2) 道内の市町村等を取り上げている箇所数
- ⑨ 自ら進んで学習したり、調べたりするなど主体的な学習を促す内容を取り上げているページ数
- ⑩ 補充的な学習や発展的な学習に関する内容について取り上げているページ数

◎ 調査対象項目にした理由

- ① 学習指導要領に示されている公民的分野の内容を適切に指導することが求められていることから、大項目及び中項目ごとや全体としての分量を把握する必要があるため。
- ② 国民民主権を担う公民として必要な基礎的教養を培うことが求められていることから、自由・権利、責任・義務、法律・条例、条約等の取扱いについて把握する必要があるため。
- ③ 現代社会における文化の意義や影響を理解するとともに、我が国の伝統と文化に関心を持ち、文化の継承と創造の意義に気付くようにすることが求められていることから、伝統や文化に関する内容等について把握する必要があるため。
- ④ 北方領土や竹島に関し未解決の問題が残されていることや尖閣諸島について解決すべき領有権の問題は存在していないこと、世界平和の実現については、領土（領海、領空を含む）など基本的な事項を踏まえて理解させることが求められていることから、我が国の領土に関する内容について把握する必要があるため。
- ⑤ 自然災害における関係機関の役割等に関する教育の充実が求められていることから、自然災害及び防災に関する内容について把握する必要があるため。
- ⑥ 地理的分野及び歴史的分野の学習の成果を活用するとともに、これらの分野で育成された能力や態度が、更に高まり発展するようにすることが求められていることから、各分野間の有機的な関連が図られている社会的事象の取扱いについて把握する必要があるため。
- ⑦ 基礎的・基本的な知識、概念や技能を活用し、思考力・判断力・表現力等を確実にほぐくむことが求められていることから、社会的事象の意味、意義を解釈する学習や事象の特色や事象間の関連を説明するなどの学習方法の取扱いについて把握する必要があるため。
- ⑧ 生徒が興味・関心をもって学習することができるよう地域の実態などを生かした指導をすることが求められていることから、北海道にかかわる内容等について把握する必要があるため。
- ⑨ 生徒の学ぶ意欲を高め、探究する力を育むことが求められていることから、実生活や実社会と関連付け、主体的な学習を促す学習内容の取扱いについて把握する必要があるため。
- ⑩ 個々の生徒の理解に応じ、きめ細かな指導をすることが求められていることから、補充的な学習や発展的な学習に関する取扱いについて把握する必要があるため。

様式 4

※調査項目の数字が網掛けになっている項目は、別記にデータを掲載していることを示す。

調査項目		発行者	東書	教出	清水	帝国	日文	自由社	育鵬社	
①	私たちが生きる現代社会と文化 (ページ数)	ページ	19	13	13	17	21	18	29	
		割合	8%	5%	6%	7%	8%	8%	12%	
	現代社会をとらえる見方や考え方 (ページ数)	ページ	9	9	5	11	9	18	5	
		割合	4%	4%	2%	5%	4%	8%	2%	
	私たちが経済 (ページ数)	市場の働きと経済	ページ	29	33	33	45	38	17	35
		割合	12%	13%	15%	19%	15%	8%	14%	
	国民の生活と政府の役割 (ページ数)	ページ	21	27	29	15	17	19	15	
		割合	9%	11%	13%	6%	7%	9%	6%	
	私たちが政治 (ページ数)	人間の尊重と日本国憲法の基本的原則	ページ	38	40	35	31	44	39	40
		割合	15%	16%	16%	13%	18%	17%	16%	
	民主政治と政治参加 (ページ数)	ページ	46	44	39	43	45	31	38	
		割合	19%	18%	17%	19%	18%	14%	15%	
	私たちが国際社会の諸課題 (ページ数)	世界平和と人類の福祉の増大	ページ	38	30	25	34	30	34	25
		割合	15%	12%	11%	15%	12%	15%	10%	
よりよい社会を目指して (ページ数)	ページ	8	8	3	7	13	18	20		
	割合	3%	3%	1%	3%	5%	8%	8%		
総ページ数			247	248	223	232	249	224	248	
前回のページ数			215	244	216	243	259	224	230	
増減			15%	2%	3%	-5%	-4%	0%	8%	
②	自由・権利に関する項目数		46	56	64	61	46	58	55	
	責任・義務に関する項目数		7	4	9	8	6	3	7	
	法律・条例、条約等に関する項目数		40	48	56	58	50	62	50	
③	伝統や文化に関する内容を取り上げた特集ページやコラムを掲載しているページ数		16	7	7	6	12	10	17	
④	我が国の領土に関する内容を取り上げているページ数		(1)北方領土	5	4	2	2	1	4	4
			(2)竹島	4	1	1	2	1	4	5
			(3)尖閣諸島	5	1	1	2	1	4	6
			(4)領土	3	4	2	2	2	5	2
⑤	自然災害及び防災に関する内容を取り上げているページ数		9	11	6	13	9	6	8	
⑥	地理的分野、歴史的分野、公民的分野の三分野に関連し、現代の社会的事象について取り上げているページ数		84	77	79	89	95	71	82	
⑦	社会的事象の意味、意義を解釈する学習及び事象の特色や事象間の関連を説明するなどの学習方法を取り上げているページ数(※1)		84	103	49	103	111	17	89	
⑧	北海道に関する社会的事象を取り上げている箇所数(※2)	(1)アイヌの人たちの文化や歴史に関する記述	16	6	5	8	5	0	5	
		(2)道内の市町村等	8	13	2	7	6	1	5	
⑨	自ら進んで学習したり、調べたりするなど主体的な学習を促す内容を取り上げているページ数(※3)		111	64	42	59	70	71	67	
⑩	補充的な学習や発展的な学習に関する内容について取り上げているページ数(※4)		0	0	0	0	0	6	0	

(※1) 調査項目⑦の「社会的事象の意味、意義を解釈する学習及び事象の特色や事象間の関連を説明するなどの学習方法を取り上げているページ数」については、東書は「公民にチャレンジ」「確認マーク」「この章の学習を確認しよう」、教出は「章のねらい」「ふりかえる」「言葉で伝え合おう」「学習のまとめと表現」「さらにステップアップ」、清水は「風船マーク」「まとめ」、帝国は「トライアル公民」「学習をふりかえろう」「技能をみがく」「確認しよう」「説明しよう」「資料活用」、日文は「情報スキルアップ」「チャレンジ公民」「学習の確認と活用」「言語活動コーナー(読み取ろう、考えよう、伝えよう)」「ナビ」「学習の整理と活用」、自由社は「課題の探求」「学習のまとめと発展」、育鵬社は「学習のまとめ」「鉛筆マーク」「〇〇の入り口」を対象とした。

(※2) 調査項目⑧については、本文、脚注、写真、地図、年表などの箇所を対象とした。

(※3) 調査項目⑨の「自ら進んで学習したり、調べたりするなど主体的な学習を促す内容を取り上げているページ数」については、東書は「公民にアクセス」「やってみよう」「深めよう」「鉛筆マーク」、教出は「公民の窓」「読み解こう」「読んで深く考えよう」「クリップ」、清水は「もっと知りたい公民」「深める公民」、帝国は「未来に向けて」「HOW TO」「連続コラム」「羅針盤」「学習の前に」、日文は「ズームイン」「プラスα」「明日に向かって」「アクティビティ」、自由社は「もっと知りたい」「ミニ知識」、育鵬社は「やってみよう」「理解を深めよう」「考えよう」を対象とした。

(※4) 調査項目⑩の「補充的な学習や発展的な学習に関する内容について取り上げている箇所数」については、発展的な学習を示すマークが付いている学習が掲載されているページを対象とした。(自由社は「学習の発展」を対象とした。)

別記

様式4の調査項目②の具体的な内容

	自由・権利	責任・義務	法律・条例、条約等		
東書	新しい人権 環境権 基本的人権 基本的人権の尊重 教育を受ける権利 勤労の権利 経済活動の自由 刑事補償請求権 権利 国際人権規約 個人の尊重 国民主権 国民審査 国家賠償請求権 子ども(児童)の権利条約 裁判を受ける権利 参政権 自己決定権 社会権 自由権 主権者 消費者主権 消費者の権利 知る権利 人権思想	身体の自由 臣民ノ権利 請願権 精神の自由 生存権 世界人権宣言 選挙権 団結権 団体交渉権 団体行動権 知的財産権 直接請求権 人間の安全保障 被選挙権 表現の自由 平等権 プライバシーの権利 フランス人権宣言 法の下での平等 労働基本権 労働三権	企業の社会的責任 義務 勤労の義務 国民の義務 責任 納税の義務 普通教育を受けさせる義務 (7)	アイヌ文化振興法 育児・介護休業法 核拡散防止条約 環境基本法 環太平洋経済連携協定(TPP) 気候変動枠組条約 教育基本法 経済連携協定(EPA) 憲法 公職選挙法 国際慣習法 国際平和協力法(PKO協力法) 国際法 最高法規 自治体財政健全化法 自由貿易協定(FTA) 循環型社会形成推進基本法 障害者基本法 消費者基本法 消費者契約法 条約 条例 生活保護法 製造物責任法(PL法) 世界遺産条約	大日本帝国憲法 男女共同参画社会基本法 男女雇用機会均等法 独占禁止法 日米安全保障条約 日本国憲法 文化財保護法 法 北米自由貿易協定(NAFTA) 民法 労働関係調整法 労働基準法 労働組合法 労働三法 ワイマール憲法 (40)
教出	学問の自由 環境権 基本的人権の尊重 教育を受ける権利 勤労の権利 経済活動の自由 刑事補償請求権 幸福追求権 国際人権規約 国民主権 国民審査 国民投票 個人として尊重(個人の尊重) 子どもの権利条約(児童の権利に関する条約) 子どもの人権侵害 裁判公開の原則 参政権 自己決定権 社会権 自由権 集会・結社の自由 住民投票 肖像権 消費者の四つの権利 知る権利	信教(宗教)の自由 人権 人権教育啓発推進法 人権擁護局 請願権 請求権 精神活動の自由 生存権 生命・身体の自由 世界人権宣言 先住民の権利に関する国際連合宣言 選挙権 団結権 団体交渉権 団体行動権(争議権) 直接請求権 著作権 通信の秘密 日照権 人間の安全保障 被選挙権 平等権 表現の自由 プライバシーの権利 フランス人権宣言 法定手続きの保障 法の下での平等 黙秘権 労働基本権 労働三権 労働権	企業の社会的責任(CSR) 勤労の義務 納税 普通教育を受けさせる義務 (4)	アイヌ文化振興法 アイヌ民族を先住民とすることを求める決議 育児・介護休業法 環境基本法 環太平洋パートナーシップ協定 気候変動枠組み条約 教育基本法 京都議定書 経済連携協定(EPA) 健康保険法 公害対策基本法 公職選挙法 国際法 国際平和協力法(PKO協力法) 国際連合憲章 個人情報保護法 自然環境保全法 自治基本条例 児童福祉法 自由貿易協定(FTA) 障害者基本法 少子化社会対策基本法 消費者基本法 消費者契約法 情報公開法	条例 女子差別撤廃条約 製造物責任法(PL法) 生物多様性条約 大規模小売店舗立地法 大日本帝国憲法 男女共同参画社会基本法 男女雇用機会均等法 治安維持法 地方自治法 地方分権一括法 同和対策審議会答申 独占禁止法 日米安全保障条約 日本国憲法 法律 北米自由貿易協定(NAFTA) 労働関係調整法 労働基準法 労働組合法 労働三法 ワイマール憲法 (48)

※ 巻末の索引を調査対象とする。

	自由・権利	責任・義務	法律・条約、条例等	
清水	<p>アクセス権 新しい人権 学問の自由 環境権 基本的人権 基本的人権の尊重 基本的人権の保障 教育を受ける権利 勤労の権利 経済活動の自由 刑事補償請求権 権利 権利章典 幸福追求権 国際人権規約 国民主権 国民審査 国民投票 国務請求権 個人の尊厳 国家賠償請求権 子どもの権利条約 財産権 裁判公開の原則 裁判を受ける権利 参政権 自己決定権 自然権 思想・良心の自由 社会権</p>	<p>自由権 住民投票 主権 主権者 消費者の権利 職業選択の自由 知る権利 信教の自由 人権 人権教育・人権啓発法 請願権 精神の自由 生存権 生命・身体の自由 世界人権宣言 選挙権 団結権 団結する権利 男女の平等 団体交渉権 団体交渉をする権利 団体行動権 団体行動をする権利 直接請求権 被選挙権 表現の自由 平等権 プライバシーの権利 フランス人権宣言 法の下での平等 黙秘権 ユネスコ学習権宣言 労働基本権 労働三権</p> <p>(64)</p>	<p>アカウントビリティ 企業の社会的責任 義務 義務教育 勤労の義務 責任 説明責任 納税の義務 普通教育を受けさせる義務</p> <p>(9)</p>	<p>育児・介護休業法 介護保険法 核兵器不拡散条約 (NPT) 環境アセスメント法 環境基本法 環太平洋パートナーシップ協定 (TPP) 教育基本法 京都議定書 経済連携協定 (EPA) 憲法第9条 公害対策基本法 公職選挙法 硬性憲法 国際慣習法 国際法 国民投票法 国連憲章 国連平和維持活動協力法 個人情報保護法 最高法規 裁判員法 死刑廃止条約 自由貿易協定 (FTA) 循環型社会形成推進基本法 障害者基本法 障がい者権利条約 消費者基本法 消費者契約法 情報公開条例 情報公開法</p> <p>条約 条例 食料・農業・農村基本法 女性差別撤廃条約 新食糧法 生活保護法 政治資金規正法 製造物責任法 (PL法) 対人地雷全面禁止条約 大日本帝国憲法 男女共同参画社会基本法 男女雇用機会均等法 地方自治法 地方分権一括法 独占禁止法 日米安全保障条約 日韓基本条約 日中平和友好条約 日本国憲法 包括的核実験禁止条約 (CTBT) 法律 民法 労働関係調整法 労働基準法 労働組合法 ワイマール憲法</p> <p>(56)</p>
帝国	<p>学問の自由 環境権 基本的人権 基本的人権の尊重 教育を受ける権利 勤労の権利 経済活動の自由 刑事補償請求権 権利 権利の章典 幸福追求権 国際人権規約 国民主権 国民審査 国民投票 個人の尊厳 個人の尊重 財産権 裁判を受ける権利 参政権 自己決定権 思想・良心の自由 児童 (子ども) の権利に関する条約 社会権 集会の自由 自由権 住民投票 主権 肖像権 消費者の四つの権利</p>	<p>職業選択の自由 知る権利 信教の自由 人権 臣民の権利 請願権 請求権 精神の自由 生存権 生命・身体の自由 世界人権宣言 選挙権 先住民の権利に関する国際連合宣言 団結権 団体交渉権 団体行動権 知的財産権 直接請求権 日照権 人間の安全保障 賠償請求権 被選挙権 表現の自由 平等権 不逮捕特権 プライバシーを守る権利 フランス人権宣言 黙秘権 両性の本質的平等 労働基本権 労働三権</p> <p>(61)</p>	<p>義務 勤労の義務 国民の義務 CSR 社会的責任 責任 納税の義務 普通教育を受けさせる義務</p> <p>(8)</p>	<p>アイヌ文化振興法 育児・介護休業法 核拡散防止条約 環境基本法 慣習法 環太平洋経済連携協定 (TPP) 基本法 教育基本法 経済連携協定 (EPA) 憲法 公害対策基本法 公職選挙法 憲法改正国民投票法 国際法 国際連合憲章 (国連憲章) 個人情報保護法 最高法規 サンフランシスコ平和条約 児童虐待防止法 自由貿易協定 (FTA) 循環型社会形成推進基本法 障害者基本法 消費者基本法 消費者契約法 消費者保護基本法 情報公開法 条約 条例 女子差別撤廃条約 人種差別撤廃条約</p> <p>身体障害者補助犬法 製造物責任法 (PL法) 対人地雷全面禁止条約 第2次戦略兵器削減条約 大日本帝国憲法 男女共同参画社会基本法 男女雇用機会均等法 地方自治法 地方分権一括法 同和対策審議会答申 独占禁止法 日米安全保障条約 日本国憲法 バリアフリー新法 ハンセン病問題基本法 法律 法 北海道旧土人保護法 マグナカルタ 包括的核実験禁止条約 北海道旧土人保護法 民法 老人福祉法 労働関係調整法 労働基準法 労働組合法 労働三法 ワイマール憲法</p> <p>(58)</p>

※ 巻末の索引を調査対象とする。

	自由・権利	責任・義務	法律・条例、条約等		
日 文	<p>新しい人権 アメリカ独立宣言 環境権 基本的人権(の尊重) 教育を受ける権利 勤労の権利 経済活動の自由 幸福追求権 国際人権規約 国民主権 国民審査 国民投票 個人の尊重(尊厳) 裁判を受ける権利 参政権 自己決定権 自己情報コントロール権 児童(子ども)の権利条約 社会権 自由権 住民投票 消費者主権 知る権利 人権教育・啓発推進法 請願権</p>	<p>請求権 精神の自由 生存権 生命・身体の自由 世界人権宣言 選挙権 団結権 団体交渉権 団体行動権(争議権) 直接請求権 適正手続きの保障 人間の安全保障 被選挙権 表現の自由 平等権 プライバシーの権利 フランス人権宣言 法の下での平等 両性の本質的平等 労働基本権 労働三権</p> <p>(46)</p>	<p>企業の社会的責任 勤労の義務 国民の義務 子どもに普通教育を受けさせる義務 責任 納税の義務</p> <p>(6)</p>	<p>アイヌ文化振興法 育児・介護休業法 温暖化防止条約 介護保険法 核不拡散条約(NPT) 環境基本法 環太平洋パートナーシップ協定(TPP) 教育基本法 京都議定書 憲法 公害対策基本法 公職選挙法 国際法 国際連合憲章 最低賃金法 自由貿易協定 障害者基本法 少年法 消費者基本法 情報公開法 条約 条例 女子差別撤廃条約 人種差別撤廃条約 身体障害者補助犬法</p> <p>(50)</p>	<p>製造物責任法(PL法) 成文憲法 政令 戦時兵器削減条約(START) 大日本帝国憲法 男女共同参画社会基本法 男女雇用機会均等法 地方自治法 地方分権一括法 同和対策事業特別措置法 同和対策審議会答申 独占禁止法 難民条約 日米安全保障条約 日本国憲法 配偶者暴力(DV)防止法 法 包括的核実験禁止条約(CTBT) 北米自由貿易協定(NAFTA) 民法 有事法制 老人福祉法 労働基準法 労働組合法 ワイマール憲法</p> <p>(50)</p>
自 由 社	<p>新しい権利 外国人参政権 学問の自由 環境権 機会の平等 基本的人権 教育を受ける権利 勤労の権利 経済活動の自由 結果の平等 権利 権利章典 権利の平等 権利の保障 国際人権規約(B規約) 国民主権 国民審査 国民投票 個人の尊重 国会議員の特権 裁判を受ける権利 参政権 思想・良心の自由 児童の権利に関する条約 社会権 自由 集会・結社の自由 自由権 自由と権利の濫用 住民投票</p>	<p>主権 主権者 知る権利 信教の自由 親権 人権 人権宣言 人権問題 身体の自由 請願権 請求権 精神活動の自由 精神の自由 生存権 世界人権宣言 選挙権 争議権 団結権 団体交渉権 団体行動権 直接請求権 人間の安全保障 賠償請求権 被選挙権 表現の自由 法の下での平等 プライバシーの権利 労働基本権</p> <p>(58)</p>	<p>勤労の義務 納税の義務 普通教育を受けさせる義務</p> <p>(3)</p>	<p>アメリカの憲法 育児・介護休業法 F T A 介護保険法 海賊対処法 核テロ防止条約 核兵器不拡散条約 環境基本法 気候変動枠組条約 教育基本法 京都議定書 経済連携協定 憲法 公害対策基本法 公職選挙法 交通バリアフリー法 国際慣習法 国際平和協力法 国際法 国際連合憲章 個人情報保護法 国会法 国旗国歌法 最高法規 周辺事態法 循環型社会形成推進基本法 省エネ法 障害者基本法 消費者基本法 消費者契約法</p> <p>(62)</p>	<p>消費者保護基本法 情報公開法 条約 条例 生活保護法 製造物責任法(PL法) 戦時国際法 大日本帝国憲法 男女共同参画社会基本法 男女雇用機会均等法 地方自治法 地方分権一括法 地方分権推進法 同和対策審議会答申 独占禁止法 特定商取引法 日米安保条約(日米安全保障条約) 日露通好条約 日本国憲法 P L 法 武力攻撃事態対処法 法 法律 法令 包括的核実験禁止条約 マグナカルタ 民法 老人福祉法 労働関係調整法 労働基準法 労働組合法 ワイマール憲法</p> <p>(62)</p>

※ 巻末の索引を調査対象とする。

	自由・権利	責任・義務	法律・条例、条約等		
育 鵬 社	新しい人権 アメリカ独立宣言 外国人参政権 環境権 基本的人権 基本的人権の尊重 教育を受ける権利 勤労の権利 経済活動の自由 刑事補償請求権 権利 権利の章典 憲法改正 国際人権規約 国民主権 国民審査 国民投票 個人の尊重 国家賠償請求権 財産権 裁判を受ける権利 参政権 児童の権利に関する条約 社会権 自由権	住民投票 主権 主権者 消費者主権 職業選択の自由 知る権利 信教の自由 人権 身体の自由 請願権 請求権 精神の自由 生存権 世界人権宣言 選挙権 団結権 男女の平等 団体交渉権 団体行動権 直接請求権 人間の安全保障 被選挙権 表現の自由 平等権 プライバシーの権利 フランス人権宣言 法の下での平等 両性の本質的平等 労働基本権 労働三権	義務 勤労の義務 国民の義務 社会的責任(CSR) 責任 納税の義務 普通教育を受けさせる義務 (7)	アイヌ文化振興法 育児・介護休業法 E P A F T A 介護保険法 核拡散防止条約 環境影響評価法(環境アセスメント法) 環境基本法 教育基本法 京都議定書 憲法 公職選挙法 国際慣習法 国際法 国際連合憲章 国民投票法 個人情報保護法 国旗・国歌法 災害対策基本法 裁判員法 障害者基本法 少年法 消費者基本法 情報公開法 条約	条例 女子差別撤廃条約 生活保護法 政治資金規正法 製造物責任法(PL法) 臓器移植法 大日本帝国憲法 男女共同参画社会基本法 男女雇用機会均等法 T P P 同和対策審議会答申 独占禁止法 特定秘密保護法 日米安全保障条約 日本国憲法 法 武力攻撃事態対処法 民法 有事関連三法 老人福祉法 労働関係調整法 労働基準法 労働組合法 労働三法 ワイマール憲法 (50)
		(55)			

※ 巻末の索引を調査対象とする。

別記

様式4の調査項目③「伝統や文化に関する内容を取り上げたページ」の具体的な内容

発行者	項目名	主な内容	ページ	ページ数
東書	伝統文化・宗教	白川郷の合掌造りの民家、出雲大社	見返し2	1
	現代社会と私たちの生活	歌舞伎	5	1
	私たちの生活と文化の役割	日本の特色ある文化	16	1
	暮らしに生きる伝統文化	年中行事、伝統文化の継承と保存	18-19	2
	伝統文化の継承と私たち	伝統文化の継承の取組	22-23	2
	平等権ー共生社会を目指して	アイヌ民族への差別の撤廃	46-47	2
	アイヌ民族と先住民族の権利	アイヌ民族と先住民族の権利	66-67	2
	住民参加の拡大と私たち	伝統的な景観を生かしたまちづくりー石川県金沢市ー	109	1
	資本主義経済と企業	日本の伝統工芸品を世界に	129	1
	世界とつながる日本	ドイツの和食レストラン	198	1
	日本の無形文化遺産	日本の主な無形文化遺産	後見返し1	1
私たちにできる社会参画	太鼓を演奏する福島県相馬市の高校生	後見返し3	1	
教出	豊かな生活を実現するために	日本人の宗教観	19	1
	理解し、尊重し合うこと	暮らしのなかの文化	20	1
	つなげたい、日本の伝統や文化	現代建築に生きる、五重塔の技と知恵	22-23	2
	差別をしない、させない	アイヌ民族への差別	48-49	2
	未来へ歩み続ける人々	伝統・文化・自然を受け継ぐ中学生	巻末1	1
清水	私たちの生活と文化	年中行事、日本の文化	10-11	2
	日本の文化を考えてみよう	伝統的な文化とその発展	12-13	2
	平等権(2)	差別の撤廃を求めて	42-43	2
	日本の無形文化遺産	日本の主な無形文化遺産	後見返し	1
帝国	日本の伝統・文化	平仮名・片仮名の成り立ち、年中行事	14-15	2
	文化の継承と創造	輪島塗、歌舞伎	16-17	2
	現代社会に残る差別	アイヌの人々への差別	45	1
	よりよい未来をめざして	水かけ祭	巻末2	1
日文	私たちがと現代社会	すしを握る外国人	1	1
	現代社会はどんな社会だろうか?	ユネスコ無形文化遺産に登録された和食	3	1
	日本の伝統文化の特徴と多様性	日本の伝統文化	16-17	2
	受けつぎ、創造する日本の文化	グローバル化と日本文化の創造	18-19	2
	世界の宗教と芸術	世界三大宗教	20	1
	四国八十八ヶ所めぐり	今に生きる日本の文化の例	21	1
	これからの社会をどんな社会にしたい?	お正月の獅子舞	206	1
	さまざまなかたちがある私たちと社会のつながり	伝統行事	■13	1
自由社	残していきたい日本の風景	首里城、富岡製糸場、巖島神社	■14-15	2
	文化の継承と創造	和の精神	10-11	2
	芸術とは何だろう	埴輪、火焰土器、能面	14-15	2
	宗教とは何だろう	日本の宗教、伊勢神宮、法隆寺	16-17	2
	私たちと地域社会	祭りや盆踊りなどの伝統行事	30-31	2
	家族愛・愛郷心から愛国心へ	教育基本法第2条	32	1
育鵬社	天皇のお仕事	主な宮中祭祀	61	1
	世界で活躍する日本人	茶道裏千家家元 千玄室	見返し③	1
	私たちの生活と現代社会	日本食、獅子舞	9	1
	発見!現代社会の特色	神社、和菓子店	10-11	2
	文化の意義と影響	私たちの生活と文化	24-25	2
	日本の伝統文化	日本の伝統文化の特徴	26-27	2
	日本の伝統文化	信仰、芸道、武道、美術、建築、工芸、芸能	28-29	2
	文化の継承と創造	郷土芸能、無形文化遺産和食	32-33	2
	身近な祭りを調べてみよう	浅草三社祭	34-35	2
	身近な祭りを調べてみよう	日本全国の祭り	36-37	2
歴史まちづくり法	各地の特色ある取り組み	117	1	

別記

様式4の調査項目④「我が国の領土に関する内容を取り上げたページ」の具体的な内容

者	領土	教科書の構成（該当ページ）	取扱い方	タイトル・主な内容	ページ数
東書	北方領土	国際社会における国家(171)	地図説明	日本の領域と排他的経済水域 北方領土	1
		日本の外交の現状と課題(194-195)	本文	「戦後の日本外交の一つは、アメリカとの関係です。(略)」	2
		日本の領土をめぐる問題の現状(196-197)	本文	「『領土』とは、国の主権のおよぶ土地を意味し、国が政治などの役割を果たし、国民が安定した生活を営むために不可欠なものです。(略)」	2
			地図	日本の領域と排他的経済水域	
			コラム	2 北方領土問題	
			写真	北海道の根室半島上空から見た歯舞群島	
			写真	日ソ共同宣言 東京宣言	
竹島	国際社会における国家(171)	国際社会における国家(171)	地図説明	日本の領域と排他的経済水域（再掲） 竹島	1
		日本の外交の現状と課題(194-195)	本文	「戦後の日本外交の一つは、アメリカとの関係です。(略)」（再掲）	2
		日本の領土をめぐる問題の現状(196)	本文	「『領土』とは、国の主権のおよぶ土地を意味し、国が政治などの役割を果たし、国民が安定した生活を営むために不可欠なものです。(略)」（再掲）	1
			地図	日本の領域と排他的経済水域（再掲）	
			本文	「竹島は、島根県隠岐の島町に属する日本の固有の領土であり、17世紀初めから、鳥取藩の漁民が藩の許可を受けて、この島や周辺の海で漁業を行っていたという記録が残っています。(略)」	
			写真	竹島	
			写真	李承晩ラインについて報じる島根県の新聞	
		写真	竹島に韓国が造った警備施設		
		写真	国際司法裁判所		
尖閣諸島	国際社会における国家(171)	国際社会における国家(171)	地図説明	日本の領域と排他的経済水域（再掲） 尖閣諸島	1
		日本の外交の現状と課題(194-195)	本文	「戦後の日本外交の一つは、アメリカとの関係です。(略)」（再掲）	2
		日本の領土をめぐる問題の現状(196-197)	本文	「『領土』とは、国の主権のおよぶ土地を意味し、国が政治などの役割を果たし、国民が安定した生活を営むために不可欠なものです。(略)」（再掲）	2
			地図	日本の領域と排他的経済水域（再掲）	
			本文	「尖閣諸島は、沖縄県石垣市に属する、日本の固有の領土です。(略)」	
			写真	尖閣諸島の魚釣島	
			写真	中国の船と並走する海上保安庁の巡視船	
領土	国際社会における国家(170-171)	国際社会における国家(170-171)	本文	「世界には190余りの国家があり、ほとんどの人々は、いずれかの国の国民として暮らしています。(略)」	2
			地図	日本の領域と排他的経済水域（与那国島、沖ノ島、南鳥島）（再掲）	
			写真	沖ノ島と、護岸工事がほどこされた沖ノ島の北小島	
	日本の領土をめぐる問題の現状(196)	本文	「『領土』とは、国の主権のおよぶ土地を意味し、国が政治などの役割を果たし、国民が安定した生活を営むために不可欠なものです。(略)」	1	

			(再掲) 地図	日本の領域と排他的経済水域（与那国島、沖ノ島、南鳥島）（再掲）	
教出	北方領土	国際社会に生きる私たち(177)	写真	「北方領土サミット」で発表する中学生	1
		国際社会の「理想と現実」(179)	写真 写真	北方領土の返還を求める元島民の人たち 日ロ外相会談の様子	1
		国際社会を構成する国家(181)	本文	「北海道の東にある歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島の北方領土や、日本海に位置する竹島(島根県)は、歴史的にも国際法の上でも日本固有の領土であるというのが日本政府の立場です。(略)」	1
			地図	日本の国土とその周辺	
			地図	北方領土	
		日本の外交のいま(189)	本文	「日本とロシアとの間では、北方領土を日本に返還するための交渉が、長期にわたって続けられてきています。(略)」	1
			写真	折り紙や絵手紙作りなどが行われた、色丹島での文化交流会の様子	
			写真	納沙布岬から見た北方領土の歯舞群島	
	竹島	国際社会を構成する国家(181)	本文	「北海道の東にある歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島の北方領土や、日本海に位置する竹島(島根県)は、歴史的にも国際法の上でも日本固有の領土であるというのが日本政府の立場です。(略)」(再掲)	1
			地図	日本の国土とその周辺 (再掲)	
		写真	竹島と尖閣諸島		
尖閣諸島	国際社会を構成する国家(181)	本文	「北海道の東にある歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島の北方領土や、日本海に位置する竹島(島根県)は、歴史的にも国際法の上でも日本固有の領土であるというのが日本政府の立場です。(略)」(再掲)	1	
		地図	日本の国土とその周辺 (再掲)		
		写真	竹島と尖閣諸島 (再掲)		
領土	国際社会の「理想と現実」(178-179)	本文	「世界各国の間で、お互いにこうした支援活動が行われる一方で、領土・領海・領空をめぐるは、主張の違いから対立が生じることもあります。(略)」	2	
		写真	東シナ海海上の警備をする海上保安庁の巡視船とボート		
	国際社会を構成する国家(180-181)	本文	「それぞれの国家は、主権とともに領域と国民から成り立ちます。(略)」	2	
		図	領土・領空・領海		
		地図	日本の国土とその周辺 (与那国島、沖ノ島、南鳥島) (再掲)		
清水	北方領土	世界平和と日本の役割(96)	本文	「日本は第二次世界大戦後、諸外国との平和と友好を何よりも大切にしてきた。(略)」	1
		国際政治と法(163)	コラム	日本の領土問題	1
			地図	日本の領土と経済水域	
	竹島	国際政治と法(163)	コラム	日本の領土問題 (再掲)	1
			地図	日本の領土と経済水域 (再掲)	
	尖閣諸島	国際政治と法(163)	地図	日本の領土と経済水域 (再掲)	1
領土	国際政治と法(162-163)	本文	「どんな国でも、その国にかかわることがらを最終的に決定するのはその国の人びとであり、ほかの国からの支配や干渉は許されない。(略)」	2	
		図	領土・領海・領空		

		地図	日本の領土と経済水域（与那国島、沖ノ鳥島、南鳥島）（再掲）		
帝国	北方領土	領土をめぐる問題(168-169)	本文	「日本も近隣諸国との間で、近年、領土をめぐるさまざまな動きがあります。(略)」	2
			写真	北海道・納沙布岬と歯舞群島の水晶島	
			脚注	日ソ共同宣言	
		地図	日本の排他的経済水域		
		地図	北方領土の歩み		
	竹島	領土をめぐる問題(168-169)	本文	「日本も近隣諸国との間で、近年、領土をめぐるさまざまな動きがあります。(略)」(再掲)	2
			脚注	竹島の編入	
			地図	日本の排他的経済水域（再掲）	
	尖閣諸島	領土をめぐる問題(168-169)	本文	「日本も近隣諸国との間で、近年、領土をめぐるさまざまな動きがあります。(略)」(再掲)	2
			コラム	尖閣諸島をめぐる	
			写真	海上保安庁の船にはさまれた中国船	
			地図	日本の排他的経済水域（再掲）	
			脚注	尖閣諸島の編入	
		写真	尖閣諸島のかつおぶし工場		
	領土	領土をめぐる問題(168-169)	本文	「世界では領土をめぐる争いが起こり、戦争にいたるものも少なくありません。(略)」	2
			本文	「領土をめぐる問題の解決は当事国の政府どうしで合意を取り結ぶのが望ましい方法です。(略)」	
			地図	日本の排他的経済水域（与那国島、沖ノ鳥島、南鳥島）（再掲）	
			脚注	国際司法裁判所	
日文	北方領土	国際社会と主権国家、日本の領土(179)	地図	日本の領域と排他的経済水域	1
			本文	「国家の主権がおよぶ範囲（領域）は、領土を中心に、それをとりまく領海と領空から成っています。(略)」	
			地図	北方領土（北海道）	
			脚注	水産・鉱産資源	
		竹島	国際社会と主権国家、日本の領土(179)	地図	日本の領域と排他的経済水域（再掲）
	本文			「国家の主権がおよぶ範囲（領域）は、領土を中心に、それをとりまく領海と領空から成っています。(略)」(再掲)	
	写真			竹島（島根県）	
	脚注			水産・鉱産資源（再掲）	
		脚注	竹島問題と国際司法裁判所		
	尖閣諸島	国際社会と主権国家、日本の領土(179)	地図	日本の領域と排他的経済水域（再掲）	1
			本文	「国家の主権がおよぶ範囲（領域）は、領土を中心に、それをとりまく領海と領空から成っています。(略)」(再掲)	
			写真	尖閣諸島（沖縄県）	
		脚注	水産・鉱産資源（再掲）		
	領土	国際社会と主権国家、日本の領土(178-179)	写真	西之島	2
			図	国家の領域	
			地図	日本の領域と排他的経済水域（与那国島、沖ノ鳥島、南鳥島）（再掲）	
			写真	沖ノ鳥島（東京都）	
		本文	「国家の主権がおよぶ範囲（領域）は、領土を中心に、それをとりまく領海と領空から成っています。(略)」(領土・領海・領空)（再掲）		
自由社	北方領土	国家と国際関係(145)	本文	「一定の地域を、複数の国家が自国のものと主張して対立する問題が、領土問題あるいは領土紛争です。(略)」	1
			地図	わが国の領域	

	わが国の領土に関する問題 (148)	本文	「旧ソ連による侵略 歯舞群島・色丹・国後・択捉、4島からなる北方領土は、これまで一度も外国の領土になったことのないわが国固有の領土である。」	1
		年表	北方領土問題の主な歴史	
		地図	1855年の日露通好条約で決められた国境	
	安全保障への努力と日本(160)	地図	わが国周辺の安全保障環境	1
	わが国の領域 口絵2(227)	地図	わが国の領域	1
		写真	北方領土	
竹島	国家と国際関係(145)	本文	「一定の地域を、複数の国家が自国のものと主張して対立する問題が、領土問題あるいは領土紛争です。(略)」(再掲)	1
		地図	わが国の領域 (再掲)	
	わが国の領土に関する問題 (149)	本文	「江戸時代からわが国が領有 竹島は周囲が絶壁の火山島で、人は住めないが周辺は海流の影響で豊富な漁場となっている。(略)」	1
		地図	竹島の位置関係	
	安全保障への努力と日本(160)	地図	わが国周辺の安全保障環境 (再掲)	1
	わが国の領域 口絵2(226)	地図	わが国の領域 (再掲)	1
		写真	竹島	
尖閣諸島	国家と国際関係(145)	本文	「一定の地域を、複数の国家が自国のものと主張して対立する問題が、領土問題あるいは領土紛争です。(略)」(再掲)	1
		地図	わが国の領域 (再掲)	
	わが国の領土に関する問題 (149)	本文	「尖閣諸島は1885年からの調査に基づき、1895年日本政府がどの国にも属していないことを確認し、閣議決定して日本領土に編入した。(略)」	1
		地図	防空識別圏	
	安全保障への努力と日本(160)	地図	わが国周辺の安全保障環境 (再掲)	1
	わが国の領域 口絵2(226)	地図	わが国の領域 (再掲)	1
		写真	尖閣諸島	
領土	国家と国際関係(144-145)	本文	「主権国家は、主権をもち、一定の領域を支配し、そこには国民が存在します。(略)」	2
		本文	「一定の地域を、複数の国家が自国のものと主張して対立する問題が、領土問題あるいは領土紛争です。(略)」(沖ノ鳥島) (再掲)	
		地図	わが国の領域 (沖ノ鳥島、南鳥島、沖大東島、硫黄島、小笠原諸島、八丈島) (再掲)	
		脚注	中国の海底ガス田開発	
		写真	中国の天然ガス採掘施設	
		脚注	沖ノ鳥島に関するわが国の権利	
		写真	沖ノ鳥島の一部、東小島	
	安全保障への努力と日本(160)	地図	わが国周辺の安全保障環境 (沖ノ鳥島、鳥島、小笠原諸島) (再掲)	1
	わが国の領域 口絵2(226-227)	地図	わが国の領域 (与那国島、沖ノ鳥島、南鳥島、沖大東島、硫黄島、小笠原群島、八丈島、対馬) (再掲)	2
		写真	沖ノ鳥島	
		図	領土、領海、領空の区分	
育鵬社	北方領土	写真	北海道国後島	1
	私たちを取り巻く課題 (見返し①)	説明		
	国家とは何か(176-177)	本文	「日本も近隣国と領土をめぐる問題をかかえています。(略)」	2
		地図	日本の主権範囲	
		説明	北方領土 (北海道)	
	領土を取り戻す、守るということ(178)	本文	「北海道の一部である北方領土 (国後島、択捉島、色丹島、歯舞群島) は、千葉県と同じくら	1

		写真	いの広さがある、日本固有の領土です。(略)」	
		写真	日本人が住んでいたころの色丹島の運動会	
竹島	私たちを取り巻く課題 (見返し①)	写真 説明	島根県隠岐の島町	1
	国家とは何か(176-177)	本文	「日本も近隣国と領土をめぐる問題をかかえています。(略)」(再掲)	2
		地図 説明	日本の主権範囲 (再掲) 竹島 (島根県)	
	領土を取り戻す、守るという こと(178-179)	本文	「島根県の竹島も日本固有の領土で、隠岐の漁民がアシカ猟やアワビの採取などを行い、周辺海域では漁船が魚を獲っていました。(略)」	2
		写真	戦前、隠岐の漁民が竹島で行っていたアシカ漁	
尖閣諸島	私たちを取り巻く課題 (見返し①-②)	写真 説明	沖縄県石垣市	2
	平和主義と防衛(58)	写真 説明	尖閣諸島中国漁船衝突事件	1
	国家とは何か(176-177)	資料	尖閣諸島の日本領海内に中国の監視船が侵入したことを伝える新聞記事	2
		本文	「日本も近隣国と領土をめぐる問題をかかえています。(略)」(再掲)	
		地図 説明	日本の主権範囲 (再掲) 尖閣諸島 (沖縄県)	
	領土を取り戻す、守るという こと(179)	本文	「沖縄県の尖閣諸島は、福岡県出身の実業家、古賀辰四郎が1895(明治28)年から開拓し、カツオ節の生産やアホウドリの羽毛を採取していました。(略)」	1
		写真	明治30年代、尖閣諸島のカツオ節工場前での記念写真	
領土	国家とは何か(176-177)	本文	「国家の主権がおよぶ範囲のことを領域といいます。(略)」	2
		図 表	領土・領海・領空 各国の領海+排他的経済水域面積の比較	
		地図	日本の主権範囲(与那国島、沖ノ鳥島、南鳥島) (再掲)	

※事項欄「北方領土」は北方領土に関する記述、「竹島」は竹島に関する記述、「尖閣諸島」は尖閣諸島に関する記述、「領土」は、中学校学習指導要領社会の内容(4)で取り扱う、わが国の領土(領海、領空を含む)に関する記述を表している。(北方領土、竹島、尖閣諸島に関する記述と同じ箇所を取り上げた場合は再掲と示した。)

別記

様式4の調査項目⑤ [自然災害及び防災に関する内容を取り上げたページ] の具体的な内容

発行者	項目名	主な内容	ページ	ページ数
東書	持続可能な社会を目指して	東日本大震災の被災者の暮らす仮設住宅	見返し2	1
	現代社会と私たちの生活	東日本大震災の被災者でのたき出し	5	1
	持続可能な社会に向けて	東日本大震災と人々のつながり	14-15	2
	伝統文化の継承と私たち	復興への願いを地域芸能にたくすー宮城県石巻市の復興輪太鼓ー	23	1
	住民参加の拡大と私たち	たき出しをするボランティア	109	1
	東日本大震災からの復興と防災	復興を支えるつながり、未来を創る中学生	112-113	2
	私たちにできる社会参画	防災マップを作る中学生	後見返し	1
教出	動き続ける世界	自然災害、感染症の広がり	巻頭1	1
	私たちの暮らしと現代社会	救援物資を運ぶ東日本大震災の被災地の中学生	11	1
	いまを生きるということ	東日本大震災以降の現在の社会	12-13	2
	世代を超えたつながりへ	新潟中越地震、被災地の復興がもつ意味	16-17	2
	つなげたい、日本の伝統や文化	響け魂の音、復興“輪”太鼓、助け合い、協力し合う姿	22-23	2
	暮らしやすいまちづくりへ	NPOと協働の広がり	165	1
	国際社会の「理想と現実」	災害の被災地への支援	178	1
	これからの資源とエネルギー	原子力発電所の事故	203	1
清水	持続可能な未来へ	東日本大震災がもたらしたもの	22-23	2
	地域活性化・復興に向けた地域の取り組み	宮城県石巻市の震災からの地域復興の取り組み	91	1
	日本経済のあゆみ	阪神・淡路大震災	101	1
	地球環境の危機	地球温暖化の影響	178	1
	現代社会のうごき	唯一津波の被害から残った松の木	後見返し	1
帝国	日本の伝統・文化	東日本大震災で再確認された「助け合い」や「和」の精神	14	1
	家族の中で生きる私たち	震災で再認識された家族との「きずな」	18	1
	地域のなかで生きる私たち	仮設住宅での自治会活動 中学生ボランティア	20-21	2
	日本の平和主義	東日本大震災の復旧・復興支援	41	1
	防災とまちづくり	安心・安全なまちをめざす地方公共団体の取り組み	98-99	2
	企業の社会的責任	大規模災害を想定した避難訓練、東日本大震災における企業の取り組み	132-133	2
	社会資本の役割と環境への取り組み	自然災害で被害を受けた社会資本の復旧・復興	153	1
	私たちと国際社会	たこあげによって東日本大震災の犠牲者を追悼する子どもたち	163	1
	国際社会のより良い発展 より良い未来をめざして	東日本大震災の被災者のために募金する少女 東日本大震災からの復興やまちづくりのアイデアを発表する中学生	183 巻末3	1 1

発行者	項目名	主な内容	位置 (ページ)	ページ数
日文	現代社会とはどんな社会だろうか?	東日本大震災のボランティア	2	1
	持続可能な社会	大災害と持続可能な社会	11	1
	大災害に強いくらしをきづく	東日本大震災における取り組み	104-105	2
	国の収入を支える税と国債	東日本大震災の復興に必要な財源を確保する復興特別税	161	1
	資源・エネルギー問題	原子力発電所と東日本大震災	194-195	2
	未来の地球をともに考える	日本の防災協力	201	1
	災害にそなえるには	防災・減災の観点	211	1
自由社	私たちと地域社会	倒壊した家から家財を運び出すボランティア	31	1
	天皇のお仕事	大被害被災地へ両陛下のお見舞い	60-61	2
	わが国の安全保障の課題	災害派遣	75	1
	地方自治の課題	国を挙げての復興支援、三陸鉄道が完全復旧	104-105	2
育鵬社	私たちを取り巻く課題	東日本大震災の津波、三陸鉄道	見返し①	1
	家族と郷土	洗濯する母親を手伝う小学生、「津波の教え」と刻まれた石碑	19	1
	平和主義	東日本大震災で被災者を救助する自衛隊員	56	1
	私たちと地方自治	大津波で大量のがれきにふさがれた道路	113	1
	政府の仕事	国民を守る防災・減災	157	1
	環境の保全	東日本大震災と原子力発電所の稼働停止	167	1
	東日本大震災	国民の絆、世界の絆	194-195	2

別記

様式4の調査項目⑥ [地理的分野、歴史的分野、公民的分野の三分野に関連し、現代の社会的事象について取り上げているページ] の具体的な内容

発行者	項目名	社会的事象	主な内容	ページ	ページ数
東書	持続可能な社会を目指して	資源・エネルギー問題 人権問題	風力発電所 車いすマラソン	見返し1	1
	公民学習の初めに	人権問題	投票する女性	見返し3	1
	公民学習の初めに	国際協力	国際連合の安全保障理事会	1	1
	グローバル化	食料問題 国際協力	国際競争と国際分業 国際問題と多文化社会	8-9	2
	少子高齢化	人口減少問題	少子高齢化とは	12-13	2
	持続可能な社会に向けて	環境問題 資源・エネルギー問題	琵琶湖の環境保全 東日本大震災と人々のつながり	14-15	2
	ちがいのちがい	人権問題	ちがいのちがい	34-35	2
	人権の歴史	人権問題	人権思想の発展と広がり	36-37	2
	日本の平和主義	国際協力	自衛隊と国際貢献	43	1
	基本的人権と個人の尊重	人権問題	子どもの人権	44-45	2
	平等権	人権問題	平等に生きる権利	46-49	4
	共生社会と私たち	人権問題	全国中学生人権作文コンテストの作品	50-51	2
	自由権	人権問題	精神の自由	52-53	2
	社会権	人権問題 人口減少問題	人間らしい生活を営む権利 社会権	54-55	2
	人権保障を確かなものに	人権問題	参政権	56-57	2
	新しい人権①	人権問題	環境権	60-61	2
	新しい人権②	人権問題	プライバシーの権利	62-63	2
	グローバル社会と人権	人権問題	これからの社会と人権保障	64-65	2
	アイヌ民族と先住民族の権利	人権問題	アイヌ民族と同化政策	66-67	2
	ちがいのちがいを追究しよう	人権問題	ちがいのちがい	68-69	2
	裁判所の仕組みと働き	人権問題	司法と裁判所	92-93	2
	裁判の種類と人権	人権問題	裁判と人権保障	95	1
	住民参加の拡大と私たち	人口減少問題	地域社会と私たち	109	1
	消費者の権利を守るために	人権問題	消費者の権利	124-125	2
	労働の意義と労働者の権利	人権問題	労働者の権利	132-133	2
	働きやすい職場を築くために	人口減少問題	外国人労働者	135	1
	社会保障の仕組み	人口減少問題	日本の社会保障制度	150-151	2
	少子高齢化と財政	人口減少問題	少子高齢化と社会保障	152-153	2
	公害の防止と環境の保全	環境問題	新しい公害と地球環境問題	154-155	2
	公害のない社会へ	環境問題	環境保全と地方自治	160-161	2
	貿易の自由化と日本	国際協力 食料問題	自由貿易の推進 地産地消	162-163	2
	地球社会と私たち	国際協力	地球社会と私たち	167	1
	国際社会における国家	国際協力	国旗と国歌	171	1
	国際連合の仕組みと役割	国際協力	国際連合の目的	172-173	2
	地域主義の動き	国際協力	世界の地域主義の動き	174-175	2
	地球環境問題	環境問題	危機的な地球環境	178-179	2
	資源・エネルギー問題	資源・エネルギー問題	これからの日本のエネルギー	180-181	2
	日本のエネルギー政策のこれから	資源・エネルギー問題	原発事故とその影響	182-183	2
	貧困問題	食料問題	世界の貧困問題	184-187	4
	新しい戦争	国際紛争	地域紛争と難民	188-189	2
	パレスチナ問題と中東和平	国際紛争	パレスチナ難民	190-191	2
日本の外交の現状と課題	国際協力 拉致問題	日本の平和主義外交 拉致問題	194-195	2	
世界とつながる日本	国際協力	経済関係の強化	198-199	2	
世界平和のために	国際紛争 国際協力	戦争のない世界を目指して より良い地球社会を目指して	200-201	2	
私たちにできる社会参画	環境問題 人権問題	清掃活動をする中学生 世界の子どもの問題について 文化祭で展示する高校生	後見返し	1	

別記

様式4の調査項目⑥ [地理的分野、歴史的分野、公民的分野の三分野に関連し、現代の社会的事象について取り上げているページ] の具体的な内容

発行者	項目名	社会的事象	主な内容	ページ	ページ数
教出	動き続ける世界	環境問題 国際紛争 食料問題 資源・エネルギー問題 国際協力	大気汚染の広がり 内戦による空爆から逃れる人々 難民キャンプの子どもたち 太陽熱発電、風力発電 水銀に関する水俣条約	巻頭1-2	2
	日本と世界の歩み	国際協力	北海道洞爺湖サミット開催	10	1
	つながる私たちと世界	国際協力	世界とつながる私たち	14	1
	世代を超えたつながりへ	人口減少問題	進む少子化と高齢化	16-17	2
	侵すことのできない永久の権利	人権問題	人権思想の発展	36-37	2
	憲法はこうして生まれた	人権問題	憲法の人権保障	38-39	2
	私たちの権利としての自由	人権問題	自由に生きる権利とは	42-43	2
	自由な社会のために	人権問題	生命・身体の自由	44-45	2
	法の下での平等とは	人権問題	法の下での平等と差別問題	46-47	2
	差別をしない、させない	人権問題	アイヌ民族への差別	48-49	2
	ともに生きる社会をみざす人たち	人権問題	部落差別、ハンセン病問題	50-51	2
	人間らしく生きるための権利	人権問題 人口減少問題	社会権とは 生存権と社会保障	52-53	2
	20世紀生まれの権利	人権問題	教育を受ける権利	54-55	2
	みんなで育てる人権意識	環境問題	環境権	56	1
	みんなで育てる人権意識	人権問題	広がる人格権	57	1
	犯罪の防止か、プライバシーの保護か	人権問題	プライバシーの権利	58-59	2
	基本的な人権を守るために	人権問題	参政権、請求権	60-61	2
	人権侵害のない世界に	人権問題 国際協力	人権問題への国境を越える取り組み	62-63	2
	権利と秩序を守るために	人権問題	司法権をもつ裁判所	94	1
	公正な裁判とは	人権問題	人権を守るためのしくみ	98-99	2
	身近な地域の政治	人口減少問題	地域社会のいま	106	1
	住民参加で地域をつくる	資源・エネルギー問題	原子力発電所の建設	110-111	2
	変わりゆく地域社会	人口減少問題	地域社会を取り巻く課題	112	1
	消費者を守るもの、支えるもの	人権問題	ケネディ大統領と消費者の権利	122-123	2
	安心して働ける社会	人口減少問題	女性と労働	159	1
	互いに助け合う社会	人口減少問題	社会保障とは	160-161	2
	社会保障の充実のために	人口減少問題	人口減少のなかで	162-163	2
	福祉の課題を追究しよう	人口減少問題	高齢者の暮らしやすい世の中	166-167	2
	循環型社会に向けて	環境問題	公害問題	168-169	2
	貿易とはなんだろう	国際協力	これからの国際貿易と日本	174-175	2
	互いに尊重し合う国家	国際紛争	国際法の役割	183	1
	国際社会のまとめ役	国際協力	国際連合のはたらき	184-185	2
	結びつきを強める国際社会	国際協力	地域統合とEU	186-187	2
	日本の外交のいま	国際協力 拉致問題	外交とはなんだ 北朝鮮との交渉	188-189	2
	世界の一員として	国際協力 拉致問題	日本の国際貢献 帰国を果たした拉致被害者	190-191	2
	民間から始める国際支援	国際協力	NGOの役割	192-193	2
	終わらない地域紛争	国際紛争 人権問題	冷戦後の世界 紛争による難民問題	194-195	2
	安全をおびやかすもの	人権問題	人間の安全保障	198-199	2
	なくてはならない食糧と水	食料問題	食糧問題の現状	200-201	2
	これからの資源とエネルギー	資源・エネルギー問題	限りある資源	202-203	2
	「生命の星」を守るために	環境問題	さまざまな「環境問題」	204-205	2
	マララ＝ユスフザイ	人権問題	ノーベル平和賞受賞	210	1
	「未来への私の約束」	国際協力	核兵器を拡声器にかえて、平和を！	212	1
	「未来への私の約束」	人口減少問題	超高齢・人口減少社会に生きる	213	1
	未来へ歩み続ける人々	国際協力 資源・エネルギー問題	平和へのメッセージカード 再生可能エネルギー	巻末2	1

(77)

別記

様式4の調査項目⑥ [地理的分野、歴史的分野、公民的分野の三分野に関連し、現代の社会的事象について取り上げているページ] の具体的な内容

発行者	項目名	社会的事象	主な内容	ページ	ページ数
清水	私たちと現代社会	国際協力	インドの学校づくりに参加する若者	9	1
	少子高齢社会の未来	人口減少問題	新しい社会をつくる	14-15	2
	持続可能な未来へ	環境問題 国際協力	文明の発達と新たな課題 未来への選択	22-23	2
	民主政治の発達	人権問題	君主主権から国民主権へ	28-29	2
	自由権(1)	人権問題	生命・身体の自由	34-35	2
	自由権(2)	人権問題	精神の自由、経済活動の自由	36-37	2
	冤罪と日本国憲法－憲法とは何か?	人権問題	人身の自由	39	1
	平等権(1)	人権問題	男女の平等	40-41	2
	平等権(2)	人権問題	差別の撤廃を求めて	42-43	2
	平等権について考える	人権問題	職場での男女平等をめぐる	44-45	2
	社会権	人権問題	生存権	46-47	2
	社会権について考える	人権問題	朝日訴訟	48-49	2
	参政権・国務請求権	人権問題	参政権	50-51	2
	新しい人権を求めて	人権問題	プライバシーの権利	54-55	2
	国際化時代の人権	人権問題	世界規模の人権保障	56-57	2
	人権を守る心は国境をこえて	人権問題	死刑制度について考える	58-59	2
	民主政治の原理	人権問題	民主政治の二つの原理	60	1
	裁判のはたらき	人権問題	裁判と人権	81	1
	司法権の独立と法令審査権	人権問題	三審制	82	1
	自衛隊と日本の安全保障	国際協力	国連平和維持活動と自衛隊	95	1
	世界平和と日本の役割	国際協力 拉致問題	東アジアの一員として 日本人の拉致問題	96-97	2
	企業活動のグローバル化	国際協力	進むグローバル化	128-129	2
	TPPと日本	食料問題 国際協力	TPP参加で日本が受ける影響	130-131	2
	社会保障制度	人口減少問題	社会保障とは	140-141	2
	社会保障のしくみ	人口減少問題	社会保障のしくみ	142-143	2
	雇用問題と労働条件の向上	人権問題 人口減少問題	雇用の促進と安定	144-145	2
	労働者の権利と労働組合	人権問題	労働者の権利	146-147	2
	知っておきたい 労働者の権利	人権問題	労働者の権利	148-149	2
	消費者の権利とその擁護	人権問題	消費者の権利	150-151	2
	循環型社会をきずくために	環境問題	公害問題と環境保全の取り組み	154-155	2
	食料問題と日本の農業	食料問題	食の安全と安定の確保	156-157	2
	政府の果たすべき役割と福祉	人口減少問題	「大きな政府」と「小さな政府」	159	1
	国際政治と法	国際協力	国旗・国歌	163	1
	国際連合とそのはたらき	国際協力	国際連合のはたらき	164-165	2
	国際連合のはたらき	人権問題	国連で演説するマララさん	166	1
	地域統合のうごきと課題	国際協力	一つのヨーロッパをめざして	167	1
	軍縮への取り組み	国際協力	拡散する兵器と廃絶への取り組み	168-169	2
	現代世界と地域紛争	国際紛争	多発する地域紛争	172-173	2
	人口の増加とかぎりある資源	食料問題 資源・エネルギー問題	人口の増加と食料問題 資源の枯渇とエネルギー問題	174-175	2
	かけがえのない地球	環境問題	地球環境を守るために	176-177	2
地球環境の危機	環境問題	多様な生態系を守るために	178-179	2	
南と北の格差をなくすために	国際協力	格差をなくすために	181	1	
地球的規模の問題	国際協力	現代社会がかかえる地球的規模の問題	182-183	2	
未来をつくる君たちへ	国際協力	未来をつくるために	184-185	2	
卒業論文を書いてみよう	食料問題	泥水を飲む子ども	187	1	
現代社会のうごき	国際紛争	同時多発テロ	後見返し	1	

(79)

別記

様式4の調査項目⑥〔地理的分野、歴史的分野、公民的分野の三分野に関連し、現代の社会的事象について取り上げているページ〕の具体的な内容

発行者	項目名	社会的事象	主な内容	ページ	ページ数	
帝国	世界で活躍する日本人	国際協力	国境なき医師団	巻頭1-2	2	
	私たちの現代社会をみてみよう	資源・エネルギー問題 環境問題	人々の努力と日本の成長 みんなで守る多摩川	4-5	2	
	少子高齢化が進む現代	人口減少問題	少子高齢社会とは	6-7	2	
	グローバル化が進む現代	国際協力	結びつきが強まる世界	10-11	2	
	文化の継承と創造	人口減少問題	伝統文化を受け継ぐ	16-17	2	
	民主主義と人権の歩み	人権問題	民主主義の歩み	34-35	2	
	国民主権と私たち	人権問題	国民主権	38-39	2	
	日本の平和主義	国際協力	日本国憲法と自衛隊	41	1	
	基本的人権の尊重と平等権	人権問題	平等権、男女平等	42-43	2	
	現代社会に残る差別（1）	人権問題	部落差別	44-45	2	
	現代社会に残る差別（2）	人権問題	在日外国人への差別	46-47	2	
	自由権	人権問題	精神の自由	48-49	2	
	社会権	人権問題	生活の中の社会権	50-51	2	
			人口減少問題	社会権とは		
	広がる人権の考え方	人権問題	環境権	52-53	2	
	人権を守るためには	人権問題	人権を守るための権利	54-55	2	
	権利の保障と公共の福祉を考える	人権問題	青果店の敷地に道路拡張の計画	56-57	2	
	国会の現状と課題	人権問題	子どもの命を守る法律改正を	72-73	2	
	私たちの生活と裁判	人権問題	三審制、えん罪事件	78-79	2	
	人権を守る裁判とその改革	人権問題	裁判での人権保障	80-81	2	
	三権の分立	人権問題	日本での三権の関係	84-85	2	
	地方公共団体のしくみと政治参加	人権問題	地方議会・首長と私たち	91	1	
	これからの地方自治	人口減少問題	社会の変化と地方自治	94	1	
	私たちと政治参加	人口減少問題	若者の政治はなればなぜ問題か	100	1	
	消費者を支える政府の取り組み	人権問題	政府の取り組み	116-117	2	
	企業競争の役割	人口減少問題	少子高齢化	127	1	
	働くことの意義と労働者の権利	人権問題	労働者を守る労働三法	128-129	2	
	労働環境の変化と課題	人権問題	女性と雇用	130-131	2	
			人口減少問題	労働環境の変化		
	企業の社会的責任	人口減少問題	企業の社会的責任とは	132-133	2	
	これからの日本の産業	人口減少問題	これからの日本企業	140-141	2	
			食料問題	日本の食料問題		
	社会資本の役割と環境への取り組み	環境問題	環境保全と社会資本	152-153	2	
			人口減少問題	これからの社会資本のあり方		
	社会保障と私たちの生活	人口減少問題	少子高齢化と社会保障のあり方	156-157	2	
	これからの日本の財政	人口減少問題	日本の将来と公正な税負担	158-159	2	
	少子高齢社会における日本の財政	人口減少問題	地方公共団体と国の取り組みから考える	160-161	2	
	世界の子どもたちと協力できることを考えてみよう	資源・エネルギー問題 環境問題	風力発電を体験しているドイツの子どもたち	164-165	2	
	国家と国際社会	拉致問題 国際協力	拉致被害者の帰国 国旗と国歌	167	1	
	今なお解決しない紛争	国際紛争	紛争の背景にあるもの	170-171	2	
	核兵器の脅威と軍縮の動き	国際協力	核軍縮に向けて	172-173	2	
	戦争の被害と人権	人権問題	安心して生活するための人権保障	174-175	2	
国際連合のはたらきとそのしくみ	国際協力 人権問題	国際連合のはたらき 子どもの権利を守るために	176-177	2		
地域機構と世界の経済格差	国際協力	地域機構の発展	178-179	2		
国際社会における日本の役割	国際協力	日本の国際協力と自衛隊	180-181	2		
国際社会のよりよい発展	人権問題 国際協力	貧困問題と人間の安全保障 求められる日本の経済協力	182-183	2		
地球規模で広がる環境問題	環境問題	地球環境問題の原因と影響	186-187	2		
地球温暖化とその国際的な対応	環境問題	環境問題と南北問題の解決に向けて	188-189	2		
資源・エネルギー問題	環境問題 資源・エネルギー問題	新しいエネルギー資源への期待と課題	190-191	2		
これからのエネルギーと消費生活	環境問題 資源・エネルギー問題	これからの日本のエネルギー政策	192-193	2		
地球環境問題の解決に向けて	環境問題	環境モデル都市の取り組み	194-195	2		
持続可能な社会をめざして	人口減少問題	持続可能な社会をめざして	198	1		

別記

様式4の調査項目⑥〔地理的分野、歴史的分野、公民的分野の三分野に関連し、現代の社会的事象について取り上げているページ〕の具体的な内容

発行者	項目名	社会的事象	主な内容	ページ	ページ数
日文	持続可能な社会をつくるために	環境問題 国際紛争	焼かれる熱帯雨林 湾岸戦争のときに燃える油田	見返し2-3	2
	少子高齢化の社会と日本の挑戦	人口減少問題	日本の人口減少と少子高齢化	4-5	2
	グローバル化する世界で生きる私たち	国際協力	貿易と国際分業によってつながる世界	8-9	2
	持続可能な社会	環境問題	高度経済成長	10	1
	くらしのなかから政治を考えよう	人権問題	くらしのなかから政治を考えよう	32-33	2
	私たちにとっての政治と民主主義	人権問題	民主主義とは	34-35	2
	法に基づく政治と憲法	人権問題	個人の尊重と人権の保障	36-37	2
	日本国憲法の制定と三つの基本原則	人権問題	世界とつながる三つの基本原則	38-39	2
	日本国憲法と国民主権	人権問題	国民主権と政治参加	40-41	2
	世界の憲法のあゆみ	人権問題	立憲主義の始まり	42-43	2
	人権思想のあゆみと日本国憲法	人権問題	日本国憲法の人権保障	44-45	2
	自由に生きる権利	人権問題	自由権とは	46-47	2
	等しく生きる権利	人権問題	平等権とは	48-49	2
	バリアフリーの社会をめざして	人権問題	まちのバリアフリーを探そう	50-51	2
	差別のない社会へ	人権問題	アイヌ民族への差別	52-53	2
	人間らしい生活を営む権利	人権問題 人口減少問題	社会権とは 生存権	54-55	2
	人権の保障を実現するための権利	人権問題	参政権	56-57	2
	社会の変化と人権保障	人権問題	新しい人権とは	58-59	2
	「ネット社会」とつき合う方法	人権問題	私たちと身近な情報モラル	60-61	2
	広がる人権保障	環境問題 人権問題 国際協力	環境権 人権保障の国際的広がり	62-63	2
	公共の福祉と国民の義務	人権問題	人権と公共の福祉	64-65	2
	日米安全保障条約と日本の国際貢献	国際協力	自衛隊の国際貢献	70-71	2
	私たちのくらしと地方自治	人口減少問題	私たちの住む地域	86	1
	地方自治と私たち	資源・エネルギー問題 人権問題	条例による住民投票の例 住民の権利	92	1
	裁判のしくみと人権の尊重	人権問題	裁判と人権尊重	108-109	2
	私たちの司法と裁判員制度	人権問題	少年法の理念	111	1
	裁判員裁判シミュレーション	人権問題	なぜ被告人の弁護をするのか?	112-113	2
	一票の格差の問題を考えよう	人権問題	一票の格差を認めるべきか	116-117	2
	消費者の権利と自立を守る政府のはたらき	人権問題	消費者主権と消費者問題	124-125	2
	グローバル化する経済と現代の企業	国際協力	自由貿易のルールをつくる 国際機関	138-139	2
	現代の雇用	人権問題 人口減少問題	ワーキングプアってなに? 女性と労働	146-147	2
	社会保障のしくみと財源	人権問題 人口減少問題	生存権と社会保障	164-165	2
	少子高齢社会における福祉の充実	人口減少問題	高齢社会を支えるもの	166-167	2
	環境保全の担い手としての政府	環境問題 国際協力	公害の問題と改善 企業の社会的責任と国際協調	170-171	2
	国際連合の目的とはたらき	国際協力	国際連合の目的とはたらき	180-181	2
	一体化する世界と地域統合	国際協力	地域統合と地域協力の動き	182-183	2
	現代世界の政治と文化・宗教	国際紛争	パレスチナ問題	184-185	2
	現代世界の戦争と平和	国際紛争 拉致問題	地域紛争と新しい戦争 北朝鮮の日本人拉致問題	186-187	2
	世界の軍縮と日本	国際協力	軍縮に対する日本の責任	188-189	2
	日本の平和主義と国際貢献	国際協力	世界の紛争と日本の役割	190-191	2
現代の貧困と多様化する世界	人口減少問題	世界人口の増大	192-193	2	

	国際協力	南南問題		
資源・エネルギー問題	資源・エネルギー問題	増え続ける世界の資源・エネルギー消費	194-195	2
地球規模の環境問題	環境問題	さまざまな環境問題	196-197	2
持続可能な社会を目指して	環境問題 国際協力	国際的な協力を実現するために	198-199	2
未来の地球をともに考える	人権問題	人間の安全保障と人類の共生	200	1
未来の地球をともに考える	国際協力	日本の防災協力	201	1
地球温暖化に対する政策を考えよう	環境問題	地球温暖化に対する政策を考えよう	202-203	2
これからの社会をどんな社会にしたい？	国際協力	変わる国連のはたらき	207	1
	資源・エネルギー問題	日本のエネルギー問題	208	1
	人権問題	世界の貧困問題の解決	209	1
	人口減少問題	若者と高齢者の関係	210	1
	資源・エネルギー問題	省エネルギーを進めるために	212	1
	環境問題	世界に生かす日本の環境技術	214-215	2

(95)

別記

様式4の調査項目⑥ [地理的分野、歴史的分野、公民的分野の三分野に関連し、現代の社会的事象について取り上げているページ] の具体的な内容

発行者	項目名	社会的事象	主な内容	ページ	ページ数
自由社	グローバル化が進む世界	食料問題 環境問題	日本でつくられている割合、負のグローバル化	4-5	2
	現代日本の課題	人口減少問題	少子高齢化の進行	8-9	2
	文化の継承と創造	環境問題	自然との共存	11	1
	男女共同参画社会を考えよう	人権問題	男女共同参画社会基本法の推進	26-27	2
	学校とルール	人口減少問題	少子化と情報化の影響	29	1
	私たちと地域社会	人口減少問題	地域社会と公共の精神	30-31	2
	基本的人権思想の発展	人権問題	マグナ・カルタ、人権宣言	42-43	2
	立憲的民主主義	人権問題	多数決と基本的人権	45	1
	日本国憲法の原則	人権問題	日本国憲法の3原則	52-53	2
	基本的人権と公共の福祉	人権問題	国民の基本的人権	62-63	2
	身体的自由と精神の自由	人権問題	身体的自由と精神の自由	64-65	2
	権利の平等と社会権	人権問題 人口減少問題	権利の平等 社会権の保障	66-67	2
	権利の平等に関する問題	人権問題	部落差別問題	68	1
	新しい権利	人権問題	プライバシーの権利	69	1
	参政権と請求権	人権問題	参政権	70-71	2
	選挙による政治への参加	人権問題	選挙権と被選挙権	78-79	2
	裁判のしくみと人権の保障	人権問題	犯罪被害者の人権保障の動き	99	1
	地方自治の課題	人口減少問題	地方財政とその課題	104	1
	働く人の保護	人権問題 人口減少問題	働く人の保護	130-131	2
	消費者の保護	人権問題	消費者を保護するきまりとしくみ	132-133	2
	社会保障制度の充実	人権問題 人口減少問題	社会保障制度の必要性 少子高齢化が止まらない	134-135	2
	年金について考えてみよう	人口減少問題	年金制度のこれからの問題	137	1
	環境保全と私たちの責任	環境問題	環境保全のための法整備	140-141	2
	国家と国際関係	国際協力	国旗と国歌	145	1
	国旗と国歌を考えてみよう	国際協力	国旗と国歌を考えてみよう	146-147	2
	国際協調と国際政治	国際協力	国際協調の必要性	150-151	2
	国際連合の成立と機構	国際協力	国連の成立と意義	152-153	2
	冷戦下の国連の苦難	国際紛争	冷戦下の世界の主な紛争	154-155	2
	国連改革とわが国の取り組み	国際協力	国連改革の必要	156-157	2
	多発する紛争と国連の現在	国際紛争 国際協力	地域紛争と多発するテロ 国連の現在	158-159	2
	安全保障への努力と日本	国際協力 拉致問題	国際平和への努力 北朝鮮による拉致事件	160-161	2
	日本人拉致問題	拉致問題	日本人拉致問題	162-163	2
国連平和協力活動への取り組み	国際協力	自衛隊の海外でのおもな活動	166-167	2	
核兵器の脅威と向き合う	国際協力	核の国際的管理と拡散防止	168-169	2	
人口爆発と地球規模の福祉	環境問題 国際協力 食料問題	人口爆発 地球規模の福祉 貧困問題	170-171	2	
エネルギーと資源の未来	資源・エネルギー問題 環境問題	エネルギーの確保と省資源 増え続ける資源消費	172-173	2	
地球環境問題と国際協力	環境問題 国際協力	地球規模の環境問題 国際的な取り組み	174-175	2	
日本の国際貢献	環境問題 国際協力	環境のための国際貢献 日本型ODA	178-179	2	
日本の安全と世界の安全	食料問題 環境問題 人権問題	わが国の生き残りを 地球環境問題 人間の安全保障を	180-181	2	
持続可能な日本と世界	国際協力	世界に貢献する基礎	182-183	2	

別記

様式4の調査項目⑥〔地理的分野、歴史的分野、公民的分野の三分野に関連し、現代の社会的事象について取り上げているページ〕の具体的な内容

発行者	項目名	社会的事象	主な内容	ページ	ページ数
育鵬社	私たちを取り巻く課題	資源・エネルギー問題 拉致問題 人口減少問題 国際協力	原子力発電、メガソーラー 拉致被害者 お年寄りと保育園児の交流 国連平和維持活動	見返し①-②	2
	発見！現代社会の特色	人口減少問題	保育所、介護施設	10	1
	世界とかかわる私	国際協力	進むグローバル化	12-13	2
	私の家庭と少子高齢化	人口減少問題	少子高齢社会の課題と対応	16-17	2
	科学技術の発展と私たちの生活	環境問題	科学技術の課題	30	1
	大日本帝国憲法と日本国憲法	人権問題	日本国憲法の基本原則	48-49	2
	国民主権と天皇	人権問題	国民主権	50-51	2
	人権の歴史	人権問題	人権とは何か	52-53	2
	基本的人権の尊重	人権問題	基本的人権の保障	54-55	2
	平和主義と防衛	拉致問題	日本の防衛の課題	59	1
	自由権	人権問題	精神の自由、身体の自由	62-63	2
	法の下での平等	人権問題	法の下での平等	64-65	2
	男女の平等と家族の価値	人権問題 人口減少問題	男女共同参画社会の課題	66-67	2
	ともに生きるために	人権問題	障害者差別	68-69	2
	「ともに生きる」ためにできること	人権問題	在日外国人と多文化社会	70-71	2
	社会権	人権問題 人口減少問題	教育を受ける権利 生存権	72-73	2
	参政権と請求権	人権問題	参政権	74-75	2
	新しい人権	人権問題	知る権利	76-77	2
	国際社会における人権	人権問題 拉致問題	国際的な人権尊重の広がり 北朝鮮による日本人拉致問題を伝える新聞	78-79	2
	人種差別をなくすために	人権問題	黒人の人権獲得への歴史	80	1
	世界の人権問題	人権問題	チベット問題とウイグル問題	81	1
	政治参加と世論	拉致問題	北朝鮮による拉致問題の早期解決を求める署名活動	92	1
	裁判所の役割と司法権の独立	人権問題	法と裁判	104-105	2
	裁判のしくみ	人権問題	裁判の種類と三審制	106-107	2
	司法への参加と人権の保障	人権問題	裁判と人権の保障	108-109	2
	裁判員になって判決を考えよう	人権問題	裁判員になって判決を考えよう	110-111	2
	消費者の権利と保護	人権問題	消費者の保護と消費者教育	130-131	2
	生活の格差と働く意義	人権問題 人口減少問題	労働環境をとりまく問題	142-143	2
	社会保障のしくみ	人権問題 人口減少問題	生活の支援 社会保障の種類	162-163	2
	福祉の充実と課題	人口減少問題	福祉の充実と課題	164-165	2
	環境の保全	環境問題 資源・エネルギー問題	公害の発生 環境を守る取り組み	166-167	2
	日本経済のこれから	資源・エネルギー問題 環境問題	日本経済の進路	169	1
	私たちと国際社会の課題	人権問題	マララ・ユスフザイ	171	1
	世界の中の日本人として	国際協力	国際協力の必要性	174-175	2
	北朝鮮による日本人拉致事件	拉致問題	北朝鮮による日本人拉致事件	182-183	2
	国際連合のはたらき	国際協力	国際連合のしくみ	184-185	2
	世界平和の実現に向けて	国際協力	自衛隊の国際貢献	186-187	2
	国際社会での協調	国際協力	地域の連帯	188-189	2
	国際社会での日本の役割	国際協力 人権問題	ODAによる国際貢献 人間の安全保障	190-191	2
	地球的規模の環境問題	環境問題	さまざまな地球環境問題	196-197	2
	地球環境問題と日本	環境問題	日本の環境対策と地球温暖化問題	198-199	2
	資源・エネルギー問題	資源・エネルギー問題	限りある資源	200-201	2
	人口の急増と食料問題	食料問題	食料問題	202-203	2
	持続可能な社会をめざして	国際協力	グローバル化の光と影	204-205	2
	持続可能な社会をめざして	環境問題 国際協力	苗植え作業、里海 ネパールの女性自立センター	後見返し1-2	2

(82)

別記

様式4の調査項目⑧ [北海道に関する社会的事象] の具体的な内容

者	類	教科書の構成 (該当ページ)	載り方	タイトル・主な内容
東 書	アイヌの人たちの歴史・文化等	暮らしに生きる伝統文化 (18-19)	写真 写真 写真 本文	・アイヌ古式舞踊 (サロレンチカプリムセ 鶴の舞) ・アットウシ ・チェッオハウ ・「日本には地域によって気候や風土に応じた多様な文化があります。(略)」
		平等権ー共生社会を目指して (46-47)	コラム 写真 写真 コラム 写真 コラム 写真 本文	・アイヌ語を継承する取り組み ・アイヌ語弁論大会 (イタカンロー) の様子と弁論の内容 ・アイヌ語ラジオ講座のテキスト ・旭川市のアイヌ語地名表示板 ・アイヌ音楽は楽しい! ・「アイヌ民族は古くから北海道、樺太 (サハリン)、千島列島を中心に、独自の言葉と文化を持って生活してきました。(略)」
		アイヌ民族と先住民族の権利 (66-67)	本文 写真 写真 資料 資料	・『先住民族』とは、ある地域に古くから暮らす民族でありながら、その地域への移住者によって社会的に支配される地位に置かれた人々のことを指します。(略) ・国連で演説する野村義一 ・国会で演説する萱野茂 ・アイヌ民族を先住民族とすることを求める決議 ・先住民族の権利に関する国連宣言
		参考法令集(228-229)	資料	・アイヌ文化振興法 (部分)
	道内の市町村等	持続可能な社会を目指して (見返し)	写真	・風力発電所 (北海道幌延町)
		平等権ー共生社会を目指して (46-47)	コラム 写真 写真 コラム 写真	・アイヌ語を継承する取り組み (北海道のラジオ局) (再掲) ・アイヌ語弁論大会 (イタカンロー) の様子と弁論の内容 (北海道札幌市) (再掲) ・旭川市のアイヌ語地名表示板 (再掲)
		地方自治の仕組み(104)	コラム 写真	・地方議会の活性化 (北海道栗山町)
		公害のない社会へ(160)	地図	・環境モデル都市に選定された都市 (ニセコ町、下川町、帯広市)
		日本の領土をめぐる問題の現状(197)	コラム 写真	・2 北方領土問題 (北海道根室市) ・北海道の根室半島上空から見た歯舞諸島
	教 出	アイヌの人たちの歴史・文化等	差別をしない、させない 平等権②(48-49)	写真 説明 写真 本文 写真
諸法令集(231)			資料	・アイヌ文化振興法 (抜粋)
用語解説(240)			資料	・アイヌ民族を先住民族とすることを求める決議
道内の市町村等		日本と世界の歩み(10)	年表 写真	・日本と世界の歩み 「1972 札幌冬季オリンピック開催」 「2008 北海道洞爺湖サミット開催」 ・北海道洞爺湖サミット開催 (2008年)
		理解し、尊重し合うこと 日常生活と伝統・文化、芸術 (20)	写真	・よさこいソーラン祭り (北海道札幌市)
		第2章 人間を尊重する日本国憲法(33)	写真	・弁護士を招いて行われた憲法についての出前授業(北海道岩見沢市)

		差別をしない、させない 平等権②(49)	写真	・アイヌの人々の古式舞踊を披露する人たち(北海道白老町)(再掲)
		もしも私が裁判員裁判に参加したら(103)	写真	・リストバンドを受け取る傍聴希望者(北海道・札幌地方裁判所)
		暮らしを支える地域の行政サービス 地方公共団体の仕事と地方財政(108)	写真	・地域で発行する広報誌(北海道函館市)
		住民参加で地域をつくる 住民の権利と参加(111)	地図	・さまざまな条例(みんなで親しむ雪条例・北海道倶知安町)
		変わりゆく地域社会 地方自治の課題とこれから(112)	地図 写真	・地域でのさまざまな取り組み(北海道ニセコ町)
		安心して働ける社会 これからの働き方(159)	写真	・銀行が開設した託児施設(2009年 北海道札幌市)
		国際社会に生きる私たち(177)	写真	・「北方領土サミット」で発表する中学生(北海道根室市)
		国際社会の「理想と現実」(179)	写真	・北方領土の返還を求める元島民の人たち(北海道根室市)
		日本の外交のいま(189)	写真	・納沙布岬から見た北方領土の歯舞群島(北海道根室市)
清水	アイヌの人たちの歴史・文化等	日本の文化を考えてみよう(13)	本文	・「日本の文化は、食文化やことばのちがいがいなど、地域によって多様である。(略)」
			写真	・アイヌの伝統儀式で新年の祈りをおこなう人びと(北海道)
		平等権(2)(42-43)	写真 本文	・ミニFM局によるアイヌ語放送(北海道平取町) ・「憲法の本質や条文のとおり、この国から差別はなくなり、平等な社会が実現しているだろうか。(略)」
			脚注	・「蝦夷地(北海道)を中心に、狩猟や漁業で生活を営む先住民族。(略)」
道内の市町村等	日本の文化を考えてみよう(13)	写真	・アイヌの伝統儀式で新年の祈りをおこなう人びと(北海道)(再掲)	
	平等権(2)(42)	写真	・ミニFM局によるアイヌ語放送(北海道平取町)(再掲)	
帝国	アイヌの人たちの歴史・文化等	現代社会に残る差別(1)(45)	コラム 写真 資料 写真 本文 脚注 写真	・アイヌ語への思い ・国会で質問をする菅野茂議員(1995年) ・菅野茂議員の国会での発言 ・アイヌ語を継承するためにつくられた絵本 ・「アイヌの人々は、かつて北海道や樺太島、千島列島を中心に、固有の文化や言葉をもって暮らしていました。(略)」 ・「決議は日本政府に対し、アイヌの人々を日本列島の北部周辺に先住し、独自の言語、宗教や文化をもつ先住民族として認めること、そして、アイヌの人々の尊厳回復などの政策をさらに推進することを求めました。」
		資料(219)	資料	・アイヌフォーラムのようす
			資料	・アイヌ文化振興法(抜き書き)
		道内の市町村等	地方公共団体のしくみと政治参加(91)	地図
	これからの日本の産業(141)	コラム 説明 写真	・品質と信頼関係で国際競争をのりきる(北海道旭川市) 「M社の経営者の声」 ・「M社の直営所で売られる米などの農作物」	
	領土をめぐる問題(168)	写真	・北海道・納沙布岬と歯舞群島の水晶島	

		地球環境問題の解決に向けて (195)	脚注 写真 地図	<ul style="list-style-type: none"> ・D北海道帯広市 「帯広市は、農業を中心とした『田園環境モデル都市』の実現をめざしています。(略)」 「使用済みてんぷら油の回収」 ・環境モデル都市 「下川町 北の森林共生低炭素モデル社会」 「ニセコ町 『国際環境リゾート都市・ニセコ』をめざす」
		もっと広い世界へー夢を追い続けてー (204)	写真	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道音更町
日 文	アイヌの人たちの歴史・文化等	差別のない社会へ(52-53)	写真 本文 写真 グラフ	<ul style="list-style-type: none"> ・国会で質問する萱野さん (1995年) ・「わが国は単一民族・単一言語の国ではなく、アイヌ民族が、主に北海道に先住していました。(略)」 ・アイヌ文化の体験学習 (北海道 平取町二風谷アイヌ文化博物館) ・アイヌに関する知識 (内閣府資料)
		法令集(232)	資料	<ul style="list-style-type: none"> ・アイヌ文化振興法 (抜粋)
		日本の現代史年表(■4-5)	年表	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の現代史年表 「1972 札幌冬季オリンピック開催」 「1988 青函トンネル開通」 「2008 北海道洞爺湖サミット開催」
		差別のない社会へ(53)	写真	<ul style="list-style-type: none"> ・アイヌ文化の体験学習(北海道 平取町立二風谷アイヌ文化博物館)(再掲)
		地方公共団体の財政と課題(91)	写真	<ul style="list-style-type: none"> ・図書の整理をする市職員とボランティア (北海道夕張市)
		15歳のハローワーク(148)	写真	<ul style="list-style-type: none"> ・NPOが企画した流氷の上を歩くイベント (北海道斜里町)
		残していきたい日本の風景(■15)	写真 写真	<ul style="list-style-type: none"> ・手つかずの自然が残る知床半島 (北海道羅臼町、斜里町) ・札幌市の観光名所の一つ、時計台 (北海道)
自 由 社	アイヌの人たちの歴史・文化等			
		道内の市町村等	写真	<ul style="list-style-type: none"> ・阿寒湖周辺のパンケトー地区
育 鵬 社	アイヌの人た	文化の継承と想像(33)	写真	<ul style="list-style-type: none"> ・アイヌの古式舞踊を披露する人々 (アイヌ民族博物館、北海道白老町、2009年)
		ともに生きるために(69)	本文	<ul style="list-style-type: none"> ・「部落差別は憲法が禁止する門地 (家柄・血筋) による差別のひとつにあたります。」
		「ともに生きる」ためにでき	写真	<ul style="list-style-type: none"> ・知里幸恵 (1903~22)

ち の 歴 史 ・ 文 化 等	ること(71)	本文	・「アイヌ語とアイヌ文化の継承に大きな役割を果たした人物に知里幸恵という女性がいます。(略)」
	法令集(235-236)	資料	・アイヌ文化振興法(抜粋)
道 内 の 市 町 村 等	文化の継承と想像(33)	写真	・アイヌの古式舞踊を披露する人々(アイヌ民族博物館、北海道白老町、2009年)(再掲)
	身近な祭りを調べてみよう(37)	地図	・姥神大神宮渡御祭 檜山郡江差町
	「ともに生きる」ためにできること(71)	本文	・「アイヌ語とアイヌ文化の継承に大きな役割を果たした人物に知里幸恵という女性がいます。(略)」(北海道登別市)(再掲)
	経済の発展と産業構造の変化(127)	写真	・漁業 サンマの水揚げ(北海道・根室花咲港)
	持続可能な社会を目指して(204)	写真	・ジュニア・エイト(J8)サミットで環境や貧困の問題などについて話し合う世界の中高生(北海道千歳市、2008年)